京城日報

廿二日夕刊

發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介　發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通二丁目

米國陸軍擴張案可決

華盛頓來電に依れば米國下院は正規兵を二十一萬に增員し各州民兵を大統領の要求の場合全米國の爲に使用することゝし米國々內陸兵の最大限を六十八萬と制限する兩院協議會報告の陸軍擴張案を可決せり上院も亦既に同案を可決せり(紐育電報)

段內閣總辭表提出

北京來電に依れば段內閣は全體辭表を提出したり徐世昌氏は之を引き止むべく袁總統の依賴を受けたり段氏は三日間の靜養を求めたるも許されずと(上海特電)

大勢袁總統擁護に傾く

南京に會同せる各省代表者豫備會議に於ては大勢袁總統擁護に傾けりと(東京電報)

北京代表者會議計畫

北京政府は各省代表者三名宛を北京に召集し時局解決に關する會議を催ふすべく計畫中なりと(東京電報)

南軍計畫の北伐難

南方假政府は南軍を六軍に別ちて北伐の途に上るべく企てつゝあるも兵器彈藥等軍需品不足に付實行は猶疑問なりと觀測せらる(東京電報)

上海財團救濟決定

上海財團は中國交通兩銀行支店を援助し兌換停止命令に依る上海財界の恐慌を救濟するに決定せり(東京電報)

獨軍の白國戰線活動
空中戰活氣を呈す

倫敦來電に依れば獨軍は白國戰線に於て活動を開始しステーンスラート及びベトサス間に於てイーゼル河を渡らんと試みつゝあり此の方面に於て空中戰活氣を呈し居れり(紐育電報)

墺國軍首腦部の所在
皇儲の出馬＝伊國境に侵入

羅馬來電に依れば墺國皇儲は自らトレントに出馬し又參謀總長ホルツェンドルフ元帥も此の方面にあるものゝ如く伊太利のカドルナ將軍も本部を該戰線に移すべしと云ふ墺軍の伊國境に侵入せしはアスチコ河溪谷の路にして此地點より墺軍攻擊の目的地たる伊國グイセンザ迄は二十哩なり(紐育電報)

獨軍に大損傷を與ふ

巴里來電に依れば二十日發表の公報に曰く獨軍はミューズの左岸に於て最も猛烈なる砲擊を行ひたる後午後に至りモルソム地方の全線に亙る攻擊を企てたりモルソムの敵は刻々佛軍第一線に侵入しつゝありしが佛軍は逆襲によりて之を擊退し而かも敵に多大なる損害を與へたりモルソムの西方及び南方斜面に於ける敵は効力なき襲擊を行へるが佛軍步兵及び砲兵は敵に重大なる損傷を與へ日沒に及び佛軍は敵の前進壍壕の一部を占領したり(倫敦電報)

六年度新財源

政府は大正六年度豫算に新財源により歲入三千二百萬圓を計上すべしと一般に豫期せられ居れり(東京電報)

廣軌局設置準備

鐵道院にては廣軌局設置の準備中にして明年度より事務を開始すべしと(東京電報)

政務總監出發

山縣元帥病氣の爲久しく上京中なりし山縣政務總監は老公の病狀快方に向ひたるを以て二十二日午前八時三十分東京驛發汽車にて歸任の途に上れり(東京特電)

安東臺灣總督

安東臺灣總督は二十二日朝郵船會社汽船備後丸にて門司に入港同船にて神戶經由上京の筈なり(門司特電)

露大使著京期

新任駐日露國大使クルーペンスキー氏一行廿二日夕著京すべし(東京電報)

羅南軍旗授與式

二十二日天氣晴朗にして絕好の日和なり立花師團長大村旅團長以下臨場の上行はれたる步兵第七十三聯隊及び騎兵第二十七聯隊營庭に於ける兩聯隊軍旗授與式並に祝宴會は空前の盛觀を極め市中各戶は國旗軒燈を揭げ種々の催物をなし祝意を表し近來稀なる賑を呈せり(羅南電報)

陸接國境貿易
輸出二十三萬餘圓　輸入十四萬千餘圓

▲輸出入總額　本年一月より三月に至る四半季間の陸接國境貿易額は輸出品價二十三萬二千九百十五圓輸入品價十四萬一千二百八十三圓合計三十七萬四千百九十八圓にして之れを前年同期に比すれば輸出は九萬一千八百二十六圓、輸入は五萬八千六百九十四圓の各增加を示せり

▲兩江岸貿易　更に之を豆滿江流域に屬するものと鴨綠江流域とに區別すれば前者は輸出十五萬六千六百餘圓、輸入七萬一千百餘圓、合計二十二萬七千七百餘圓、後者は輸出七萬六千二百餘圓、輸入七萬百餘圓合計十四萬六千四百餘圓にして之を前年同期に比較するときは輸出入を通じ豆滿江流域に於て十萬九千二百餘圓、卽ち九割餘、鴨綠江流域に於て四萬千三百餘圓、卽ち四割の增進を告げたり

▲出入重要品　次に輸出入重要品中增減の顯著なるものを擧ぐれば輸出に在て大豆は一萬五千餘圓を減退したるも生牛は時局の影響に依り露領に輸出せられたる爲め四萬八千餘圓を增加し、其他牛皮、玉蜀黍、白米、鮮魚、食鹽等孰れも出廻好況を呈せり、而して輸入に在ては粟に二萬七千餘圓、小豆に七千餘圓、其他大豆、玉蜀黍、大麥に何れも二千餘圓の增進を告げ減退の著しきものを見ず

▲輸出入品種　今同季間中に於ける輸出入重要品種並に其價額を示せば左の如し

輸出重要品(單位圓)

品目	豆滿江	鴨綠江	計
白米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
玉蜀黍	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
乾魚	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石油	[illegible]	[illegible]	[illegible]
生金巾類	[illegible]	[illegible]	[illegible]
晒金巾類	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鮮紙	[illegible]	[illegible]	[illegible]
紙卷煙草	[illegible]	[illegible]	[illegible]
生牛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
生馬	[illegible]	[illegible]	[illegible]
牛皮	[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	二三二,九一五

輸入重要品(單位圓)

品目	豆滿江	鴨綠江	計
粟	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
生菜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小麥粉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
麵子	[illegible]	[illegible]	[illegible]
支那燒酎	[illegible]	[illegible]	[illegible]
人蔘	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大豆油	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石油	[illegible]	[illegible]	[illegible]
生金巾	[illegible]	[illegible]	[illegible]
葉煙草	[illegible]	[illegible]	[illegible]
生馬	[illegible]	[illegible]	[illegible]
木材	[illegible]	[illegible]	[illegible]
板[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
豆粕	[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	一四一,二八三

司法官會同(第一日)

司法官會同第一日は二十二日午前九時より總督府第二會議室に開催、寺內總督以下各部長官、局長、警務總長、關係各課長等出席し國分司法部長官統裁の下に直ちに日程に入り午前は諮問事項、午後は協議事項ありて午後四時閉會したり

司法官宿所

司法官會議の爲め入京中なる司法官の宿所左の如し

宿所	氏名
巴城館	島山平壤覆審法院長
同	中山大邱覆審法院長
同	花田公州地方法院長
山本旅館	岡本咸興地方法院長
天眞樓	勅使河原平壤地方法院長
不知火旅館	佐々木海州地方法院長
同	柳澤大邱地方法院長
巴城館	鈴木釜山地方法院長
不知火旅館	前田光州地方法院長
天眞樓	三井平壤覆審法院檢事長代理
同	赤井大邱覆審法院檢事長代理
巴城館	川口公州地方法院檢事正
不知火旅館	岡本咸興地方法院檢事正
天眞樓	伊藤平壤地方法院檢事正
山本旅館	氏田海州地方法院檢事正
巴城館	大村大邱地方法院檢事正
天眞樓	野津釜山地方法院檢事正
同	秋山光州地方法院檢事正

京畿隊署長會議

京畿道警務部管內憲兵分隊長、憲兵分遣所長、警察署長會議第三日は二十二日午前八時より前日に引續き京畿道廳內食堂に於て隈部警務部長統裁の下に主計警務部警視及び各係主任警部出席隊部隊長の指示注意事項あり正午休憩の後午後一時より再開し各隊署よりの意見竝疑義希望事項及び高等に軍事警察に關する事項に關し附議し午後四時散會せり二十三日は午前打合事項午後講話ある筈

政務總監歸期

山縣政務總監は既記の如く二十二日朝東京驛發歸任の途に就けり今回は直行なれば二十三日下關より連絡船に搭乘す可く南大門驛著は二十四日午後九時の豫定なり

露國大使謝電

新任駐日露國大使クルーペンスキー氏一行は二十一日朝釜山著、少憩の上連絡船に搭乘東京に向へり、大使は釜山出發に際し寺內總督に宛て朝鮮通過に方り御歡待を受けたるを衷心感謝する旨の謝電を發せり

立花師團長消息

立花第十九師團長は便船の都合に依り二十日清津上陸直ちに羅南に向ひたるが二十一日は羅南駐屯各部隊を巡視し二十二日午前より步兵第七十三及び騎兵第二十七兩聯隊の軍旗授與式を擧行二十三日同地發會寧に向ひ同地工兵隊を視察し清津を經て歸任の豫定なるが龍山歸著期は月末頃なるべしと

寺西軍醫部長視察

朝鮮駐劄軍司令部寺西軍醫部長は隨員二名と共に二十二日午前九時憲兵隊司令部及び警務部を視察せり

物集博士下仁

文學博士物集高見氏は二十二日午後四時より仁川小學校に於て開催すべき本社支局主催の講演會に臨場の爲め下仁午後一時卅六分杻峴驛下車市內各學校長等の出迎を受けたり

伊澤氏總督訪問

貴族院議員伊澤修二氏は廿日南大門驛著入京大觀亭たる立花師團長邸に宿泊し廿日朝官邸に寺內總督を訪問せり

▲出發　入京中なる貴族院議員伊澤修二氏は二十二日朝九時十分南大門發奉天に向へり

議員參政官等入京

元山方面視察中なりし藤澤內務省參政官、石渡、和田兩貴族院議員、今泉會計檢査官は二十二日午後五時二十二分南大門驛著汽車にて入京す

中村純九郞氏

前北海道長官中村純九郞氏は廿日入京したるが二十一日は午前總督邸に寺內總督を訪問入京の挨拶を爲し午後は市中を見物したり

望月代議士退京

衆議院議員望月小太郞氏は二十三日午前九時十分南大門驛發汽車にて退京新義州より安奉線を經て北京に向ふ筈也

木村鮮銀理事出發

支那各地經濟事情視察の爲め木村鮮銀理事は既報の如く二十一日午後九時四十分發列車にて北行したるが隨行は佐藤、高橋の兩法學士なり

吉田支店長の視察

鮮銀東京支店長吉田節太郞氏は會議終了に付二十三日京城發北行ハルビン浦鹽各地を視察し敦賀に上陸の上歸任すべしと

石川技師北海道出張

北海道鐵道一千哩祝賀會擧行に就き同會列席の傍ら北海道に於ける鐵道狀況視察の爲め鐵道局石川技師は二十一日朝龍山出發視察の途に就けり

總監部警察醫更任

廿二日附を以て總監部警察醫陸軍二等軍醫正早川於都造氏は警務囑託を解かれ後任として同日附にて伊藤陸軍三等軍醫正警察醫務を囑託されたり

峰尾出納役退職

退職の噂ありたる京城學校組合出納役峰尾晋三郞氏は愈々二十日を以て道長官より辭任聽許せられたるを以て同日組合に出勤直ちに事務の引繼を爲し二十二日は廳內各係に對して退任の挨拶を爲したるが氏は今後朝鮮鐵業會社の創立事務に從ふ由因に府內組合並に同氏關係者は近く記念品贈呈の計畫ありと

第二回通俗講演會

京城食料品竝に酒商組合は聯合して來る六月一日第二回通俗講演會を開くことに決定し目下其講演者に付き依賴中なるが今後は每月一日を例會日とし每時店主、店員を集合し修養談を聽かしむることゝなりたりと

平壤

▲司法官會議出張　島山平壤覆審法院長は大內書記を、三井檢事長代理三井檢事は中鉢書記を、勅使河原地方法院長は堀江書記を伊藤檢事正は宮本書記を隨へ司法官會議列席の爲め五月廿日午後一時三十七分平壤驛發列車にて上京せり因に向井檢事長は病氣の爲め會議に出席せずと▲隊署長會議終了　平南道警務部隊署長會議は二十日終了せしが瀨藤警務部長は同日午後六時より工藤長官、島山覆審法院長勅使河原地方法院長伊藤檢事正三井檢事及び各隊署長を旗亭に招待したり▲警察職員見學旅行　平南隊署長會議列席の各隊署長及び警務部員等見學の爲め鎭南浦に出張せり一行は午後九時著の列車にて歸壤す▲高知縣教育會の組織せる鮮滿學事視察團は來る六月一日午後一時平壤著大神宮箕子陵乙密臺牡丹臺其の他學校等を視察すべしと

清津

▲露領輸出牛不振　國境慶興郡龍峴牛市場は本年二月中旬來不振を極め殆んど集合牛なく輸出杜絕の有樣にして四月中の如きも同市場にて取引して露領に輸出したるものは僅に生牛二十七頭價格一千四百五十圓に過ぎず本月初旬來は生牛價格漸次昂騰して一磅一圓以上に達したるに拘らず斯くの如く不振を來せしは全く生牛出廻不足に因る自然の趨勢に外ならざるが本春に入りて生牛輸出の不振に至りしは露貨暴落其他種々原因あらんも要するに昨年來過超なる輸出ありたる反動ならんと▲咸北國境の牛疫　咸北道國境方面の牛疫は四月上旬慶源郡龍德面は初發以來穩城、鍾城、會寧、慶興の各郡下に蔓延して本月十日迄に總數四十五頭の發生を見るに至り尙ほ益々蔓延の兆あるが殊に最近に於て發生を見たる慶興郡雄基面白鶴洞の牛疫は最も猖獗にして既に十五頭の發生を見るに至りたるが尙ほ終熄の模樣なきより道廳にては白鶴洞に臨時牛疫豫防事務所を設置し鏡城道廳より森技手警務部より前田獸醫が出張して相協力して豫防消毒血精注射等を爲し嚴重に警戒して防疫に努め居れり

春川

▲畜產組合擴張　本年四月八日以降畜產組合設立認可を經たるは旌善、麟蹄、襄陽、通川の四郡にして技術員たる囑託獸醫も其々著任しつゝあるが江原道二十一郡の內未だ設立を見ざるは平昌、寧越、杆城、揚口の四郡なるも遠からず組織さるべしと▲京春自動車盛況　京春間自動車は昨年四月京城皮革商北村氏之を經營し最初一臺を以て運轉を試みたるが地方の發展に伴ひ豫想外の好成績を呈し到底一臺のみを以ては乘客の希望を滿す能はず本年一月更に一臺を增し每日往來の便を圖りつゝありしが時々買切乘客等の場合尙ほ不足を生ずるを以て本年二月より新に京城、廣橋組認可を受け目下一臺を運轉し主として鮮人側の乘客に充て何れも好況なり▲庶務主任會議　江原道各郡庶務主任會議は來る六月五日より五日間道廳內に於て開催の筈なるが出席人員は二十一名なりと

天安

▲佛教獻堂式擧行　忠南天安には去る十九日午後一時より天安佛教假教會堂竣工の獻堂式を(一)本尊上供(二)讀經(三)獻堂式辭(四)工事報告(五)來賓祝辭(六)曹洞宗大本山の特派員の講演の順序に依り執行したるが當日來會者は假教會堂に充滿し裘地上に立聞したる者數十名もありたる有樣にて頗る盛會なりき

群山

▲蝟島石首魚漁況　本年蝟島近海に於ける鮟鱇網漁業成績を聞くに第一潮時は氣溫寒冷に過ぎ漁獲物少なく不成績に終り第二潮時は當初豐漁の觀を呈せしも大潮時に至り卽ち四月十五日より二十二日まで連日に亙る大時化に會し漁撈を中止するの已むなきに至り二十三日天候の回復せるを以て再び出漁せるも是亦思しき成績を得られず然かも魚價は當初一尾三錢より漸次下落し遂に四厘まで相場の暴落を見たるは米價下落に起因せる地方民の購買力減退に依るべく而して本年の蝟島漁場に出漁せる漁船數は內地人側長崎縣百七十六隻佐賀縣百四十隻福岡縣三十五隻熊本縣二十七隻大分縣一隻鹿兒島縣六隻山口縣十五隻群山九隻計四百零九隻にして鮮人側は忠南五十隻全南五十五隻全北二十七隻京畿十五隻黃海六隻計百五十隻なりしが內地人側一隻平均漁獲高は百三十圓にして鮮人側は一隻平均三十圓の收獲を得たりと▲良質石材　群山在住北川辰藏氏投資者となり近く事業を開始せんとする京釜線大田沃川の中間に位せる石山は建築材料として最も好適せる優良質のものにして採取得數百萬個を有する頗る好望なるものなりと

釜山

▲若松府尹出張　慶尙南道廳に於ては道內府尹郡守會議を二十四日より開催せらるゝに付若松釜山府尹同會議に列席の爲め二十三日晉州に赴く筈なりと▲警察署長訓諭　先般總督府令に依り發布せられたる料理屋貸座敷業者に對する取締規則に就き去る十七日より三日間に亙り本道內憲警隊署長會議に於て之れが實施につき熟議せる由なるが釜山の如きは所在各方面に散在せるを以て何れ警務部より其指定地の命令ある迄は現在の營業地に許可されたるものと見做すものなりと釜山警察署長は廿一日より二十七日迄の間に於て每日管內料理業者其他を同署樓上に召集し訓諭をなすべし▲各大會開催　釜山の日和廿一日日曜日をトし催したるものは草梁道間の別莊の主道間氏の釜山商業會議所議員の招宴、芽千閣の佐賀縣人春季大會、守谷樓の防長人春季大會、松島の釜山藥種商組合の野遊會、牧の島鑛泉場に於て築豐人大會等あり何れも季節の好き時とて大盛會なりしと

梁山

▲養蠶概況　本郡の養蠶種掃立數は百二十五枚にして本月八日より十日迄に發生せるが例年に比し五六日後れたり桑苗植付數を本郡全體にて十二萬六千七百四十本內十一萬一千二百四十本は共同購入にて道廳より四百零二圓三十錢の補助を得一萬五千五百本は道廳より無償配付を受け栽植せるものなり稚蠶共同飼育は昨年は本郡中に二箇所の處今年は五箇所を設け各所に一名づゝ密陽蠶業傳習所卒業生をして擔任せしめ郡實業講師末吉市之丞氏一週に一回づゝ各共同飼育場を巡視し監督し居れり▲大幸梁山憲兵分遣所長大幸喜太郞氏は慶尙南道憲兵隊長會議に出席の處十九日午後歸所せり▲梁山郡廳財務主任書記長谷目勇造氏は十五日より東萊溫泉場に於る五郡書記會議に出席の爲め出張中の處十八日歸廳せり

鎭海

▲山口司令官出張　鎭海要港部司令官山口九十郞少將は二十日出發六日間の豫定を以て晉州道廳及び京城方面へ向ひたるが不在中は將旗を撤し參謀長海軍大佐佐伯佐野常羽氏其職務を代つて處理するとのことなり▲昌原道路　鎭海民と鎭海昌原間の道路は鎭海市街發展の第一策として久しく當地官民の間に橫はれる懸案なるが本年は海軍側の同意を得て市街地土木費五萬三千圓の內二萬八千圓の金額二年度分を分割し之を慶南道廳の土木費に移し本年より開鑿工事に著手の筈なれど未だ買地に著手せられざるより海軍側並に市民は一日千秋の感を抱いて其著手の日を俟てり聞く所によれば多分七月上旬頃よりなるべしと▲大邱觀光團來　大邱朝鮮民報社主催同地官民六百餘名より成る馬山鎭海視察團は二十日馬山を經て來鎭海軍要港部を視察し碇泊艦艇を望見し同日馬山に引返して歸邱せり

人事消息

▲プリボシナ氏(白耳義總領事)　二十二日朝鳥致院へ
▲小木虎次郞氏(工學博士)　二十一日夜入京二十二日朝退京
▲本田親清氏(代議士)　二十一日夜入京京城ホテルへ
▲東洋協會專門學校生徒二十三名　二十一日夜水原より歸京
▲矢鍋永三郞氏(元山稅關長)　入京中の處二十二日朝退京
▲大杉謹吉氏(明治護謨技師)　二十一日夜入京浦尾旅館へ
▲赤澤賢一氏(石油商)　二十二日朝入京浦尾旅館へ
▲若尾保三郞氏(貿易商)　同上
▲新島東北大學教授　二十二日朝新義州より南大門通過釜山へ
▲朝倉外茂鐵氏(辯護士)　所用にて元山に出張の處二十一日夜歸京せり
▲今泉會計檢査官一行　二十日午後九時二十分元山より入京
▲後藤瑞巖師　大邱及び釜山の佛學會に出席の爲め二十二日朝大邱へ向け出發
▲ムーチィ氏夫妻(米國陸軍少將)　二十二日朝入京朝鮮ホテルへ
▲山口太兵衛氏　氏の叔母(八十二歲)永眠に付廿一日夜南大門發列車にて鹿兒島へ

■仁政殿の牡丹を咏む

○富貴草人も斯くあれ吾も又　大塊

○牡丹照る宮殿の石龜水吐ける　虎耳

柳架（蘇島にて）

◉青島記念館御造營

宮城二重橋正門内なる 振天府建安府と並びて

畏き邊りにては大正三年十一月七日我陸海軍が青島を攻略したる名譽と出征將士の勞苦を記念せさせ給ふ御思召により宮城二重橋正門内なる日清戰役の振天府日露戰役の建安府に並びて青島戰記念館御造營の議あり既に内匠寮に於ては其の設計等も成りたる由なるが同館正門入口に掲げらるゝ扁額は伏見宮貞愛親王殿下御揮毫遊ばさるべく竣成の上は青島戰の兵器分捕品其他を陳列せしめらるべしと承る（東京）

◉將來を誓約して解決

支那艦の我漁船砲撃事件 旅順第九水雷艇隊の報告

龍口沖に於ける支那艦の我漁船砲撃事件に付き十三日出動したる旅順第九水雷艇隊の報告に依れば遭難船は大連を根據とせる漁船にして之を砲撃せるは芝罘支那警察廳所屬の警備艦建隊（七百五十噸）なることを確め藤田少尉以下將校警官は直ちに同艦長方佐生に嚴談し損害賠償と將來斯かる不法を爲さゞることを誓約せしめ同事件の一切を解決したりと（旅順）

◉脆く殺された陳其美

▲珍らしい大膽不敵の男 ▲袁派刺客三百と稱さる

下の關入港の上海歸客談に曰く「飛電に依れば陳其美は遂に刺客の手に斃れたやうであるが彼は珍らしい大膽不敵の男で常に飛離れた行動をやつて居た彼は日頃から嚴しい刺客の注視を受けて居るにも拘らず白晝ブラ／＼床屋へでも出掛ける位の

▲豪膽な振舞 をやつて居たから斯く脆くも殺されたのだ孫黄兩派隙あり其れが爲め同志討で斃れたといふのは眞ではあるまい目下上海には凡そ三百と稱せられる袁派の刺客が侵入して日夜革命の志士を狙つて居る尤も之以外に金で傭入れる臨時刺客の數は其幾何なるを知らずと云ふ有樣で實に殺氣滿街に横溢して居る、陳も多分之等の毒手に斃れたものと思ふ、巧妙に入國した孫逸仙の如きも昨今極て危險な地位にある

▲陳暗殺成功 をキッカケに引續いて幹部連三三人位は近々暗殺されるに違ひないと思ふ、目下上海に於ける北軍は二箇師團で約二萬人位の貧弱な備へだが其の内整つた兵士は三分の一位のもので軍隊と云つても實に亂暴極まる北軍既に斯くの如し况んや南方の兵になると俥夫や乞食の溜のみで武器と云つても

▲一挺の短銃 が有るか無いかと云ふ有樣丼して之とても僅少なもので勿論戰爭なんかの間に合ひさうにも無い又近頃岑春煊の行動が大分怪しくなつたと云つて新聞にもチラホラ報道されてゐるやうだが彼が果して北方に加擔するか何うか何れともまだ速斷は出來ぬけれども近來孫逸仙にしろ、黄興にしろ、其他の中樞人物でも當年の信望は確かに衰へて居る、内地人は徒らに彼等の

▲行動を過信 して居るが實相は反袁派中でも其程に之等の老人株を難有がつて居ない別言せば既に彼等は國民から倦れんとして居る早い話が上海革命の事でも餘り仰々しく報道されると同地人は却て面目無がつて居る兎も角も時代は大分推移して南北を問はず新人物の蹶起を期待して居るのは今日支那人心の趨嚮であつて恐らく何人も爾認めて居る事と思ふ」（門司）

◉新綠の金剛山

▲廿日に賣出す採勝往復切符 ▲京城からは往復僅に七日間

江原道金剛山の勝景は獨り朝鮮のみならず世界的のものとなつて來た、萬二千峰の四季の眺めはその何れを問はず美しいが

▲殊に此頃の新綠 は最もよい、京城から行けば先づ午前九時二十分發の列車でその日の午後四時五分元山着、同夜十二時出帆の汽船で翌朝六時長箭港に上陸する、港からも美しい金剛山は緒のやうに見ゆるが更に約二里の道程を人車で行けば山麓温井里に落し此處で温泉に入浴しつゝ採勝の途に上れば外金剛だけなら其日共に二日間で充分である、併し

▲嶺東嶺西の内外 金剛を見んとならば少くとも五日間は費さねばならぬ、長箭港發の汽船は夜の十一時出帆翌朝六時元山に入る、元山からは午前九時四十五分發の列車で午後五時廿分南大門に歸る順序となる、詰り内外金剛遊覽日數は七日間、外金剛だけならば四日間の日數がかゝる、鐵道局では五月廿日から採勝往復切符を發賣し

▲單獨旅行者には 三割、十人以上の團隊には五割の割引を行ふ（切符は南大門、大邱、釜山、平壤、仁川驛に限る）また元山長箭間の汽船は通常一箇月六回運航のところ六月一日から十月末迄は一箇月十二回以上兩港から出帆する猶ほ温井里の鐵道ホテルも此の間開業、他に日本宿もあり寺院でも宿をかしてくれる

◉軍艦火事詳報

驅逐艦海風の機關室より發火

十九日午後三時十分横須賀軍港内第四號船渠に入渠修理中なる第十六驅逐隊所屬大型驅逐艦海風（艦長石川中佐）の第四機關室より火災を起し見る見る一面の猛火となり通風機より黒煙を吹出したるより大騷ぎとなり乘員は元より工廠及び在港諸艦より防火隊出動し必死となりて消防に力めたる結果同三十分漸く鎭火したり原因は一機關兵が作業中過つてカンテラを落し其火が附近に流散し居たる機械油に燃え移りたる爲めにて現場より程遠からぬ所には重油タンクあり防火隊の活動が今少し遲れなば一大椿事を惹き起したるなりと損害取調中（横須賀）

◉連絡船より投身

藝妓にてヒステリーの女

連絡船高麗丸は二十二日午前九時二十分釜山に着せるが船客上陸後二等室に婦人持洋傘及び下駄の遺留品あり門司より釜山に渡航の乘客三重縣一身田寺町上野きよ（三）行衛不明となり居れるを發見せるが察するに同日午前四時後投身せるものならん同人は藝妓にしてヒステリー症の如くなりしと（釜山特電）

◉鐵道野球大會

七にて鐵道軍の勝利に歸す 鐵道對京城聯合試合は六對

二十一日（日曜）午前九時より鐵道公園に於て鐵道倶樂部野球部主催の春季野球大會舉行す、參加チームは遞信倶樂部、京城倶樂部、鐵道倶樂部第二選及び同テニス有志者及び鐵道第一選手の五チームなり先づ鐵道第二選手對鐵道テニス團（五回ゲーム）試合あり午前九時半京見、林兩氏の復審にて開始せしが第二選手軍容大いに備はり十對一を以てテニス軍を粉碎す、次に京城倶樂部對鐵道第二選手の試合あり審判松島、前田兩氏の復審にて午前十一時十分より開始、鐵道第二選手最初より氣勢揚り常に京城軍を壓迫せる氣味あり京城軍二三、六回に四點を得たるに反し鐵第二、一回二點三回三點六回二點五、八回に各一點計九點を得アルファー九對四にて鐵第二選手團の勝利に歸す第三回戰は遞信倶樂部對鐵道テニス團の仕合にて審判中村氏の下に午後一時半開始テニス軍二三回に五點を得井田の本壘打あり、遞信二回五回に五點を得七回に至り勝敗伯仲にありしもテニス軍最後の攻勢に四點を得結局十三對八にてテニス軍の勝利に歸す最後に期待せられたる京城聯合軍對鐵道選手對抗戰あり室氏の審判の下に午後四時半より開始、京城聯合軍は遞信、京城倶樂部及び朝鮮銀行より選拔せるものなるが豫期の激戰もなく六對七にて鐵道の勝利となるチーム左の如し

京聯合	鐵道
1 厚地（京）	7 諸富
2 中村（京）	5 羽室
3 羽田（遞）	6 猪俣
4 齋藤（銀）	4 松島
5 [illegible]（京）	3 見田門
6 藤田（遞）	9 保坂
7 前田（遞）	2 室田
8 橋（銀）	8 岩田
9 河井（銀）	1 林

◉六日目の取組

藤の川（一）逆鉾　港（四）玉の川　緋縅（紅葉川）四海渡　大の川

敷島（朝）近江富士　金の花（大戸平）綠　十州山（紫雲龍）

千年川（石山）大蛇潟　宇都宮（兩國）九州山　伊勢濱（太刀山）　栃木山（源氏山）

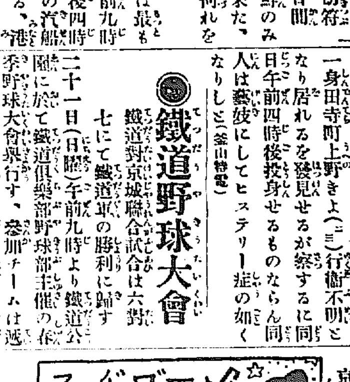
▲中入後

柏戸（稻の穗）稻葉嶽　龍ケ崎（黒瀬川）　宮城山（寒玉子）小常陸

鳴戸洋（玉手山）釋迦嶽　岩木山（浦の濱）梅の川

眞砂石（鶴渡）對馬洋　大錦（大鳴門）西の海

△源氏山出場 休場中なりし源氏山は六日目より出場せり



坊ちゃんと犬の情意投合

一◆何處へ行く？—◆甘い…… 本町にて 出目吉

今日は俺体に景氣が好い日だぞと思ふと見は無暗に先へ先へと急ぐ向ふから來る男は何んだつて斯んな景氣の好い日に泣きツ面をして來やがるんだらうオイ／＼そんなに顰めてあるい下駄を窄めたね不可ねわ質ひたいならどれでも取つて行きねば皆んな持つて行つても構はねわ斯う云ひながら大急ぎで歩いて居る乃公は「一體」

◇何處へ行く？— 憚んながら何處へも行く用事は持つて居ねのだ、それなのにお何にも此んなに急いで浮足に飛び廻る必要は有るめい此の途の片隅に引込んで通行人の御面相でも見物する事に爲ようオ、來たく何んだい馬鹿に眞白く塗つた顔だあねわかお前樣御女命のお面を被つて居るのかと思つてたら矢張り

◆生地へ塗り付けたのかい ◆御丹當なものだ朝鮮

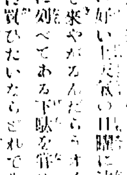
くんだりの左官は跣足だぜ、奥方は白壁御亭主は黒壁かい先ふから來る奴は何んだい馬鈴薯へ山高帽を乘つけて居るのかと思つた馬鹿に仇つぽい娘を連れて居るぢあないか瓜の蔓に南瓜と云ふ事が有るがこりや馬鈴薯が玉子を生んだのだ、其の後から蚤の夫婦が通る鯽の樣な顔が通る

◇狸の樣にむく／＼ したネルの著物を著た娘が通る、何んだい馬が洋傘を翳して通るかと思つて驚いたら馬車の向ふを女が通つて居るんだ、これも倦きたから今度はソロ／＼後戻をする乳母車を押して捨てた儘お母さんがヨリドリ十錢の紙をあれでもないこれでもないと捻つて居る間に何處からか來た洋犬が車上の坊ちやんと

◆情意投合して喰べ掛けの ◆お菓子を貰つて喰べて

終つて口の邊まで嘗めて遣つたのにまだお母さんは紙を撰つて在らつしやる、此方へ來ると牛肉屋に丈の高い女が二人這入つて買つて居る肉はお野郎が買ふよりも女が買ふ方が似付かしい殊に單衣物に著換へた頃には、うつりがいゝ斯んなナユウナリヅムの人達の考へる樣な事を思つて見ながら一丁目の方へ歩いて來ると

◇成金らしい豚肥な男 と背の高い紳士とが傍若無人の高聲で話しながら行くどんな事を話しながら行くのかと思ひながら聞くともなく後から隨いて行くと近頃重石が下落つたと云ふ話だが困つたものだと云ふ樣な事だ後から乃公が次つて曰く「輕石なら浮上るだらうが重石が下落るのは當然ぢやないか」と（此項終）



元山鯖が市場に現はれた、元山は毎年五月下旬から六月一ぱいの間に夥しい鯛と鯖魚の山を築く△半島の要點は南鮮と北鮮の兩方に置く必要がある南は東洋一の鎭海灣北は元山港の永興灣が無二の好い鎭海ほど理想的なものは類が無い△天下の名勝金剛山採勝客の爲めに鐵道局は廿日より割引乘車券を發賣する葉山の名を以て呼ばれる初夏の萬二千峰を採るには一年中今が最好時期である△水彩畫の如き果實屋の店頭、萃果、ネーブルやうやく影を失ひ世はバナ、枇杷の天下たらんとす、牀蜜柑の稱ある長州の夏橙もこれからがいよ／＼全盛期となる

廣告

本二十三日午後五時龍山元町一丁目瑞龍寺に於て故武田範之大和尚七回忌法要修候に付御參拜相成度此段故和尚縁故者諸君に謹告候也

發起人

東京大相撲 夏場所星取表（表中○勝●負×分▲預や休）

東の方

力士	星
西の海	○○○○○
大錦	●○○○○
對馬洋	○○○●○
栃木山	やや○○●
兩國	○●●○○
九州山	●○○●●
源氏山	ややややや
宇都宮	や●●○○
釋迦嶽	●●●●●
紫雲龍	ややややや
小常陸	○○●○○
近江藤	●●●●●
岩木山	●▲●●●
大の川	○●●●●
宮城山	×●●●●
梅川	●●○●●
朝綠	●●●●●
稻葉嶽	●●▲●●
四海波	●×●××
龍ケ崎	●○○○●
玉の川	○○●▲●
逆鉾	●○○○○
綾川	やや●●
勝星 二十九 負星 四十四	

西の方

力士	星
鳳	ややややや
太刀山	○○○○○
伊勢濱	●○や○○
大蛇潟	○●○●●
浦の濱	○▲○●●
石山	●●●●○
大鳴門	●○○○○
玉手山	●○○○○
八甲山	や○●●●
鳴戸洋	×●●●●
鶴渡	○●●●○
金の花	○○▲●●
黒瀬川	○●●○○
寒玉子	●●●○○
眞砂石	○○○○○
千年川	○○○○○
十州山	○●●▲●
稻の穗	●○●×●
紅葉川	○●●●●
明	やややや
柏戸	○×○○○
敷島	●○○○○
朝潮	や○○○○
勝星 四十五 負星 三十	

◎橫領金八十圓也 京城茶屋町生れの李壽花は南大門通二丁目中村……集金したる代金合計約八十圓を橫領費消したる爲め本町署に引渡さる

崔元植の……名を殺害せしものなること判明檢擧せられたり

一名を蒲團にて窒ひたる上棍棒にて……處嫌はず毆り付け……

◎平壤の賭博判決 平壤府竹……

◎連絡船上陸客 二十一日午……等客

天氣 は 晴一時曇 五月廿三日

埼玉縣人 榎本彌三郎 丈高き方 卅歳前後
福山縣人 若林宇吉 丈低き方 廿歳前後
右雇人中不都合有之行衛不明同人等居所御承知の方は御通知に預り度現時御雇入相成居候節は御一報被下度相應謝儀可仕此段廣告及御依頼候
東京淺草區駒形町電停前 布施商會

勝 致富之寶無代進呈 大阪堂島米穀取引所仲買人 一曾我商店 朝 米
電信略號オサカソガ一 振替口座大阪二四一七二番 電話長北（二四八〇）（二四九番）（二五一番）

臨時 出張鑑定 帝國易道協會長 中村了凡先生
五月二十日より同廿九日まで十日間左記の旅館に在つて尤も懇切に鑑定せらる
午前八時より午後九時まで
○鑑定種目 骨相、人相、易、家相、方位
○鑑定所 京城本町二丁目 清光館
帝國易道協會幹事

タングステン
用手廻鑛山機械は始政五週年記念物産共進會に於て賞牌一個及び褒狀三を授與され朝鮮唯一の鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得 大マグネット中根式
京城南大門通五 電話一〇四番 中根商會

小兒科 内科 京城吉野町（元仲ノ新地遊廓跡）
特に呼吸器胃腸腎臟病 腺病胎毒小兒眼疾 入院隨意
雨森醫院

移轉廣告
弊樓儀從來旭町三丁目に於て開業御愛顧を蒙むり居り候處今般左記に移轉し弊樓の特色たる御手輕さ且つ一層親切叮嚀を旨として勉強可仕候殊に今回の場所は綠翠滴る南山と相對し眺望頗る宜敷候間初夏の御散歩旁々御立寄りの程待入候 敬白
京城南山町二丁目（元喜久家下） 鍋道樂 電話一四九番

[illegible]サイダー キリンサイダー キリン印ラムネ
發賣元 平壤京町 梶原商會支店

讃岐象頭山琴比羅神道大講義興武館長 熊川憲正師出張
自五月二十日至六月十日 滯在
家傳名鍼並に名灸 接骨術 施療
治療受付時間 午前九時より午後五時迄
臨時間都合に依り柔道夢想新流奥義活法傳授す
於出張所 京城太平通廣江商會前（電話一四〇三番） 廣瀬館
興武館 熊川家執事

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士 從五位 堀池常作
事務所 大邱府南龍岡町

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹸部 化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹸製造所 電話二五六四番 電話二九七三番 振替口座京城四〇〇番

京城南大門外鐵道踏切側 今本醫院 電話二八五二番

最上醤油
京城本町三丁目 田中支店釀造 電話七六四番

内科小兒科 外科花柳病 診察 自午前八時至午後九時
西小門町舊醫院跡（電話一三二五） 高井醫院分院
院長正六位勳四等 高井貞治 副院長千葉醫學士 松崎正彦

…本年五月上旬迄の間に同家の印章を盗用して領收書を僞造し或は誤つて…迎へしたるなどと詐稱し數回に亙り…[illegible]
…治四十二年三月二十八日夜陰に乗じ…昌平憲兵分遣所の憲兵補助員張鳳彥…六統九戶李春用方へ二人の男二斤…りなる根棒を携へて侵入し折柄同家…に滯泊中の同郡武面桃田里李永周外…るに至らずと…捜査に著手せるも未だ犯人を逮捕す…處せられ…[illegible]…即時警所の中止を命じたり

●素人の家庭に御料理の趣味

―京城此頃の野菜類―

□頃日初夏の野菜屋の店は綠、紅、白、黄等の色とり〲の蔬菜類でさながら油繪のやうに輝いて居ます

□「近來素人の御家庭にも一般に家庭料理の御趣味が普及しましたので何處にも料理屋で用ゐるやうな高等野菜が多く賣れます

□先づ、かいわれ、みつば、こまつな、たで、めじそ、花きうり、はじかみ、しようが、めうが、あらせとなども盛んに用ゐられて居ますがあらせとなどは餘程凝つた御料理に御用ゐになります

□胡瓜はまだお酢の物に用ゐられ此頃の相場は相當に高値で賣れますが出盛りは六月十日頃からです、獨活は主に朝鮮にあります殊に開城獨活は美事なものが出ます

□小蕪はまた此頃一番よく料理に使はれ一夜漬け、三ばい酢などが愛でられます、白瓜も出ました、これは主に溫室ものですが高等野菜として一番です

□豌豆も亦初夏の野菜としてうれしいもの春菊、廿日大根の紅いのもよろこばれます茶豆は主に內地から參ります、其他茄子にセロリーも來ます

□京城附近には生松露と生松茸もこのころ出ます、わけぎも此頃の季節ものですが蓮根は一年中いつもあります」(春川店員談)

●奧樣達の纛島遊び

□往十里から徒歩で□
□雪のやうな梨の花□

先日のこと長谷川町日本基督教會の婦人たちは纛島の東拓農場から動物…梨園のあたりに遊…しました、人數はすべて廿餘人、道は…往十里に降りそれから全部徒歩で歩かれました、一行の中には石塚長官夫人、國分長官夫人、渡邊高等法院長夫人、鈴木局長夫人、村田課長夫人なども加はられてなか〱の賑ひでございました、中食は久次米場長のお宅で頂き、それから落地園のやうな梨の花の畑で記念寫眞を撮り更らに柳の美しい漢江を渡つて…岸華嚴寺の…[illegible]…所緣を致しました、樂しい遠足を了て一行の京城に歸られたのは其日の夕方頃でございました

□美しい蛇を愛する女

□逆境に在つてけなげな日向きむ子女史□

◇美しい婦人としてまた蛇を可愛がる婦人として有名な日向欣子女史はこのごろ精神に異狀を來した夫輝武氏をいたはりながらけなげな奮闘をつゞけて居ます

◇女史は自分の生活や一家を支へる爲めに「オーロラ」といふ化粧品を賣つて居ますがまたいろ〱な原稿などもやつて居られるやうです

◇女史は美しい女、新しがりの女として世間から噂されて居ましたけれども兎角世間の人は他人の惡口を云ひたがるものですが豈敢て蛇を懷から出すやうな婦人では無かつたでせう

◇併し私共一面識ない者が世間の評判を透して見た女史はどうも家庭的の婦人では無かつたやうですいつもよく夫婦伴れだつて歩く女で澤山の子供を悉皆乳母と女中に任せて遊んで居る女でありました

◇それが這回夫輝武氏の失脚から續いてお氣の毒な生涯に陷りました

◇女史は誰れもが斯うした境遇に陷つたとき考へるやうに物質上に失なうたものを精神上に求めんとして居られます

◇「銀と藍」の著書は讀みませんが新聞に現れた「日記の中より」を讀むで見ますと華やかな過去に對する「あこがれ」ばかりが見ゐてゐます

◇それを見るにつけてもあんな婦人があんな立場に陷つたときの境遇が一入氣の毒でなりません、しかし女史が逆境に屈せず生活の爲めに働いて居られるのは洵によいと思ひます

◇女史はこの頭讀賣紙上で「女はぜひ生產的な仕事を有たねばならぬ、女が仕事を有つと家庭の方が疎になるといふ人もありますが家庭の仕事は整理さへすれば多少の時間が出て來ます

◇猶ほ主婦の仕事の爲めに女中を備ふとしても一方に女に仕事を與へる事になりますから結局世間の爲に倍の効果が生ずるのではなからうか」といつて居られ升(すゞらんの花)

□散步家列傳(四) めちや吉

D君=明け暮れ時刻にはおかまひなし、雨風を厭はず寒暑は勿論の事、戶迷ひした暗牛の如く西に東にドブ板を蹈み破つて滅法界に歩き廻るD君は、散步家中の散步家として誇に推稱するに足る人であらう。山に野に、街に裏町に臨時隨處に…[illegible]…斯くして神になつた足が…[illegible]…猛獸の樣な野獸に…家の病人を驚すは毎度のことなりかけ…[illegible]

●敎員家族會

西大門敎育俱樂部では二十一日午前十一時から會員の家族會を催しました來會者五百餘名で定刻に至るや有賀理事長開會の挨拶を爲し直ちに餘興に移る終つて茶食となり庭內青葉の彼方此方に設けたる模擬店に一同舌鼓を打ち再び餘興に入る當日は近來になき好天氣とて一層此催しに興を添へて關屋局長、弓削、小田の兩課長、柴崎、太田の各校長等の顏も見受けました一同歡を盡して散會したのは四時半でありました

神社と教會とお寺

▲龍山加藤神社(龍山大島町) 二十四日午前十一時より祭典執行正午より神酒分配、午後餘興として角力、仁輪加、手踊等の催しあり

▲日本基督教會(長谷川町) 匿岡大阪の教會から岡內牧師といふ方が副牧師として來られました、尙ほ井口牧師は六月初旬より往復一週間の豫定にて新義州の教會へ行かれます

▲護國寺(旭町三丁目) 二十三日午後八時より例月の通り法要及び說教あり

▲經王寺(新町) 二十二日例月の通り題目法要執行

―△會いろ〱▽―

△淑明女學校記念會 私立淑明女子高等普通學校の創立十週年記念會は二十三日(火曜日)午後四時より京城ホテルに開催

△三年忌記念會 鈴木局長のお宅にては…の照寫が亡くなられてから三年になりますので二十二日午前十時から記念會を催ふされました席上井口牧師始め二十餘人の夫人方が集られました

△商女同窓會 京城高等女學校にては廿一日午前記念日の式を擧げ同午後より卒業生の同窓會あり

回鮎のキミ酢 …[illegible]…おろして…酢に漬け…酢より取り…[illegible]

●府尹夫人の招待

金谷京城府尹夫人は二日午前府及び學校組合の各係主任の夫人其他十數名を招待してお茶の饗應がありました

婦人界消息

△松田夫人(…木浦出張所長)廿一日夜內地より…と共に木浦へ歸られました

△京野夫人(朝鮮銀行)二三箇月滯在の豫定にて先日內地に歸られました

△尾石夫人(土地調査局尾石課長夫人)久しく歸省中のところ先日歸京されました

△池田つや子氏(池田病院看護婦長)久しく歸省中のところ廿一日再歸院へ歸られました

番茶のあご

△…[illegible]…氏(二八)は「世界の國」と題する書物をかいた方ですが專攻が動物學であるだけ…[illegible]…

商況

東京株式特電

[illegible]

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

朝鮮物產特電

[illegible]

雜報

●油類の近況 …[illegible]

●千瓢空前の暴騰

千瓢は既報の如く東京方面に對する大阪筋の大注文成立を動機に更に價格の暴騰を促がし一方財界の活躍と相俟つて…[illegible]

●浪板六尺値上げ

…[illegible]

五錢方引上げ 一圓五十五錢の標準

…[illegible]

●烏山方面の米況

…[illegible]

手放し概して成行に聽じ

…[illegible]

●夏蜜柑不讃

…[illegible]

秋物は一圓三十錢處

…[illegible]

利 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 …[illegible]

下關相場

…[illegible]

京城正米

…[illegible]

南大門の廻穀

…[illegible]

仁川現物市場

…[illegible]

釜山穀物市場

…[illegible]

生魚市場

…[illegible]

仁川期米

二十二日前場 電二錢十五錢と小八錢高の入 …[illegible]

二十五錢を上廻り三十三錢と沸騰し新高値に上伸 …[illegible]

安く移り …遂に前日の高値 …[illegible]

市場零聞

▲前場沸騰す

大阪高を受け煎れと新規の買物多 …[illegible]

仁川米豆取引所

二十二日の七月限 賣買取組高 …[illegible]

北濱だより

▲商船株 …[illegible]

▲保合上放れ乎

…[illegible]

▲人氣沸騰す

遂に上岐れ …[illegible]

▲煎れ買多し

込入氣の反動來 割高思ひ賣り …[illegible]

▲期米日先觀

…割高は割 水不足の憂惧 挿秧時期に際し 街合氣去 高値買は絕望 警戒を要 買方前途は尙遼遠 …[illegible]

田中金次郎 …[illegible]

最上醬油

位本質品的對絕

譽名の一唯界造釀滿鮮

於始政五年紀念物產共進會 金牌受領

釀造元 仁川港 日本醬油株式會社 電話七五一番京城一七四番

京城出張所 電話二四五番京城五二三番

特許 機械製 ほまれ味噌

萬年毛筆 タイヨー 新案特許三六二九八號 ▲六月十五日迄 特價六十四錢 替郵金八錢 京城日報社代理部

少女の友 六月號 小女教話 少女科學 寫眞小說 歷史物語 新子守唄 △御覽なさい ▲人形のきもの ▲ちやんちや娘 ▲母の手紙 ▲實母物語 ▲動物畫報 ▲植物畫報 □本誌愛讀者大會記事 △御覽なさい ▲地獄から極樂 ▲古錢物語 ▲怪星の秘密 ▲三才女 ▲地藏尊 ▲魚の裁判 □少女と感情 下田歌子 □高等女學校入學準備 …[illegible]

日本少年 六月號 戰場美談 繪畫軍歌 少年漫畫 歷史小說 冒險小說 △見よ ▲間諜の子 ▲諸國行脚 ▲鷗の死態 △見よ ▲智惠太郎 ▲腕力次郎 ▲力士の噂 □寫眞小說 山中の怪火 秩父山中へ特に寫眞隊を派遣し撮影したる少年探勇の大冒險 □重砲の威力 ▲化物寺の跡 ▲深山探檢 □わが友よ ▲少年忠臣蔵 ▲ハンニバル ▲少年海員 □余の宙返り アート・スミス

定價拾貳錢 …東京市京橋區…實業之日本社

何人でも一度御試飲あれば必ず……一生涯御常用になるは 美味滋養 蜂印香竄葡萄酒 の生命と眞價なり――!! 凡そ常用者の忘るべからざる欣快は ∴毎朝の一杯は……精神を爽にし元氣を增す ∴毎晚の一杯は……疲勞を慰め睡眠を助く 斯くしてますく健康の人となる!! 東京日本橋本町 近藤利兵衛

宮本武藏

第四十六回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

宮本武藏は　武「兩人の外に一人居るのか、人の命を助けんとならば、此れへ出て命乞をするが當然であらう居ながらに致して兩人を助けてやれとは無禮である、是れは人の爲めであるに依つて捨ては置けぬ、兩人を出せ」と云ひながら喜連格子に手を掛けて這入らうとする　侍「太刀合せを以て兩人を渡せといふならば太刀合せを以て兩人を渡すことは出來ない、私を誰だと思ふ、京都今出川に道場を出して居る吉岡又三郎兼房とは私だ」と聞いて兩人を引出さうとした武藏先生、後へ退つて　武「是は吉岡先生でございましたか、私は小笠原の家來宮本武藏正名でございます、何うか一遍お稽古を願ひたいと心得まして今出川へ參つてお尋ねいたしました處、御不在でお目通りをいたしませんでした、武藏でございます　吉「是は〳〵武藏先生でありましたか、誠に失禮をいたしました私は只の武士と思つて懲ろかしてやらうと存じました處武藏先生であつて誠に失禮をいたしました、豫て御高名は承知いたして居ります、シテ武藏先生貴方は試し斬などをする譯はない、定めし此の兩人が貴方に斬り付けたに相違ないと思ひます　武「左樣此の兩人が拙者に斬り付けましたので刀を取上げて是まで追込んで來ました、誠に惡い奴で……　吉「それは何うも惡むべき奴だ、私が手傳ひますからやつてお仕舞ひなさい」兩人は愁ろいた、一人でさへ叶はないものを二人では尙更叶ふ譯はない、そこで武藏先生は森の家來といふ事を聞いて、よく〳〵後日のことを誡しめて刀を遣はし城内へ歸してやりました、時に吉岡兼房齋が　吉「どうか武藏先生一本お手合せを願ひたいもので　武「篤と宮本の方から勝負を願ひたいは山々でござるが、併し以前申上げた通り夜が明けると御城下を通るのが面倒で、誠に殘念ではありまするが後日お目に懸つて勝負を致しませう、少々宮本は取急ぎますから今晩は御免を蒙ります」兼房齋も强つてとは言はない、宮本の大望のあることは豫て心得て居るから、左樣ならば殘念ながらお別れ申します隨分お急ぎなすつて居らッしやい」其から元の所へ宮本は出て來た、二里八町の松原を走り廻つて歩行たものだから横道に這入つたのを段々彼方此方歩行いて若宮八幡の側へ出ました、それから御城下へ掛つて來るとガラリと夜が明けて仕舞つた、アヽ困つた、どうか誰にも逢ひたくないもんだと思つて、せつせと急いで來ると向から町奉行がガラン〳〵と金棒を先きに曳かして來るところ通り掛つて一寸見ると江戸で武藏先生が劍術を敎へてやつた近藤七左衛門といふ人だ、武藏先生心の中で誰かと思つたら七左衛門か、大層出世をして町奉行になつたやうに見受ける、久々だに依つて會つて話もしたいがそうも往かぬ、振返つては行き〳〵する、此方も後を振返りて行く御町奉行の七左衛門は宮本さいふことは知りませぬから其侍の風采を見て怪しい奴ぢやと、振返つては行く、又今朝旅宿を立出た男か前晩から歩行て居るものか分らないやうなことでは町奉行の役目を勤めることが出來ない此奴前晩から步行て居るに違ひない、草鞋が草の露で濕つて居る所杯はどうしても夜旅行を掛けて來た男に違ひない、二本杉の處で人殺しをする奴は斯う云ふ奴だらう、素通りをさせては往かぬと思つたつから　奉「コレ彼れへ參る侍を暫時止める　役「畏りました」と五六人バラ〳〵と來まして　役「町奉行近藤七左衛門お尋ね申したいことがある、少時お待ち下さい……武藏先生目付かつたかと思つたが　武「少々急ぎますから御免下さい」と云ふとツツツツ急いで行かうとする　役「お待ちなさい　武「急ぎますから御免下さい」ツツツツと行く町奉行近藤七左衛門後ろから馬の足を早めて來て持てる所の鞭を持つて笠の上から「待てッ」と云つてポンと打つ、一人が飛出して宮本が被つて居る笠を取つて、七左衛門二度目に鞭を取上げて見ると師匠の武藏先生であつた

入院隨意（診察夜九時迄）

皮黴科

皮膚病　黴毒病　淋病　勝胱病　生殖器　機能障碍

日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目（元ノ町）

佐藤醫院（電話一一七三番）

◇玄米乳　一合三錢　一應配達

○發明は東京化學研究所　○指定店は京城北米倉町

●玄米製乳舍　電話一五四七番

愈々龍山配達開始

にせものあり御用心を乞ふ

◉少女の友（六月號）東京實業之日本社發行　「少女の友」六月號には過日東京にて盛會を極めたる少女の友愛讀者大會の繪や記事花々しく掲載せられ大に讀者の目を惹き其他少女敎話、少女科學、寫眞小說、歷史物語、新子守唄等博士や名家執筆に成るもの多く少女雜誌中異彩を放つ

五月廿四日九星　舊四月廿三日辛酉　本命七赤西定友引

△七赤●背功にして實有り週き日　新事見合南方け吉　暗劍西　△八白●收入よき日　轉居開業入門名弘求職　棟上　結婚　醫藥等皆吉　△九紫●手順の狂ふ事有り日　新事手段務事は吉萬落付て計らるべし　△一白●快活の日　轉居開業入學求職　船　婚姻生醫藥等皆吉　△二黑●榮昇の日　女子は意外の良緣を得る振ふべきの日也　△三碧●我の誤りを意味する日　新事手段務事は吉　一切の勝事を禁ず　△四綠●平運の日なれども新事移日の方吉　舊事開業は妨なし　△五黃●相潮の日　轉居旅行入塾　名弘求職　川漁婚禮　美術金銀開業等吉　△六白●繁昌の日　轉居開業入門名弘　川漁探測金談訴訟の印を作る等皆吉

演藝案内

櫻井町　大正館　電話八七三

○五月十九日より特別大寫眞　○滑稽スキットルの遊び　○實寫パテー週報八四號　○喜劇御幣かつぎ　△日活京都新派俳優連出演　○新派悲劇　五月鯉　全三卷廿二場　△同上　桂川琵琶彈奏　△伊太利パスクアリー社新輸入品　○泰西活劇　富の値（原名魔界）三卷六十呎　[illegible]　○義士外傳　俵星玄蕃一代記　全三卷百二十場　[illegible]

御成町　御成座　電話二九一

市川海老松阪東龜鶴一座　廿三日　前狂言　蘆屋道滿大内鑑　五冊　切狂言　揚巻助六　東の立引　二場　[illegible]　入場料　一等四十錢、二等二十五錢、三等十錢

▼大好評の義士劇▲　尾上松之助實川延一郎出演　義士外傳　俵星玄蕃　大好評滿員御禮　●大正館

大日本活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店　黄金町四丁目　電話三六三七　黄金館

○新派大悲劇　義理の柵　全三十六場　[illegible]　○軍事大活劇　最後の一壘　全二卷　[illegible]　○舊劇　御嶽八郎　全三卷　[illegible]

明治町　電話二六〇番　浪花館

京城落語三遊組合　三遊亭圓遊一行來る　十七日より毎午後六時開演　△落語（三遊亭遊二）△落語（三遊亭遊六）△落語、手踊（三遊亭遊枝）△落語（三遊亭圓花）△落語、音曲（三遊亭遊樂）△落語、笑話、長唄、常盤津、手踊（東京遊實）△女道樂　[illegible]　△滑稽、人情、笑話、音曲一流、ステ、コ踊（三遊亭圓遊）

本町　電話五七八番　壽座

五月廿三日晝夜　須磨の仇浪　全編　[illegible]

社員拾名募集（日鮮人）

平壤本町六番地

明治公債出張所

クスリはホシ

外遞藥四十餘種　各地藥店にあり

シホゴール　▲淋病▲消渇

定價　二十錢、卅五錢　五十五錢、一圓

●日常化粧法

第一に先づ石鹸よりも牛乳よりも遙に有效なクラブ洗粉で能くお顔やお襟の生地をお洗ひになり

第二にお化粧下として一番評判の好いクラブ美身ゼリーをお顏からお襟元へかけて十分に擦り込み、蒸しタオルの類で能く之をお拭きになつた後

第三に不思議に生地の色までも白く美しくなるクラブ白粉か又はクラブ美の素白粉を兩頬と目の邊りを殘して全部に能く塗り、未だ水氣のある内に牡丹刷毛で力を入れて大きく上下に刷き延ばし

第四に水刷毛で兩頬及び目の邊り迄一面に薄く白粉を平均し、其上をぬれタオルで押へて水氣を除り

第五に兩の頬と、目の邊りにクラブ頬紅を薄く刷くのでございます耳にも頬紅を塗るのも一つの秘訣でございます

第六に襟には襟足をとり顎の下から咽喉へかけてはお顏より少し濃く白粉をお附けになりますとお化粧が水際立つて美しく見ねます

尙御婦人の生命たるお髮には、不思議に髮の艶を增すクラブ香油又はクラブ美髮用ポマードをお用ひになりお髮の少い方は、平生クラブキニーネ香水を振懸けてお擦りになりますと、お髮の發育が良くなる上に、フケが除れ、お髮がフツクリとして、御氣分まで淸爽して參ります。

◎湯化粧の仕方

入浴の時クラブ洗粉で能くお顔や襟をお洗ひになり、クラブ白粉又はクラブ美の素白粉を殘分濕目に附け指先で肌理に能く〳〵擦込み、少し間を置いてクラブ洗粉でスッカリ洗ひ落しておしまひになり、再びクラブ白粉又はクラブ美の素白粉を濕へ擦込み、湯手拭で拭き取りになるのでございます。此方法を毎日怠らずに繰返しますと所謂垢抜のした美しいお顔になります。

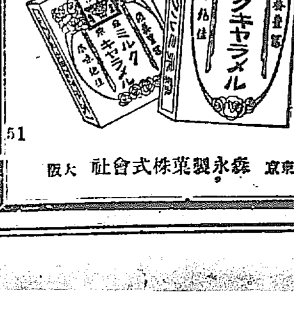
國產　煙草代用

森永ミルクキャラメル

今日も是非召し上がれ

安心して食べられる菓子

ニセモノあり　此の商標に御注意を乞ふ



51

東京　森永製菓株式會社　大阪

クラブ白粉

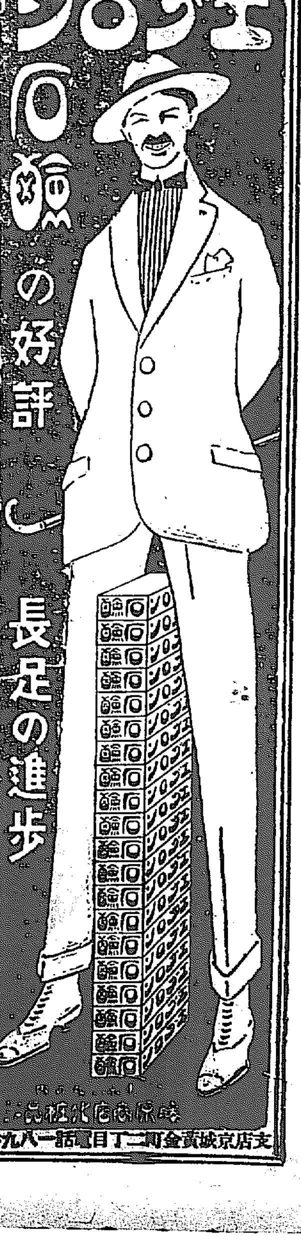
附けて高尙で

非常に美しく洗つた後も

不思議に生地の色まで白くなるは

他の白粉には眞似の出來ぬクラブ白粉とクラブ美の素白粉の大なる特長也

他の白粉では眞似が出來ぬ



エゾロン口齒の好評　長足の進步

支店京城黄金町二丁目電話一八九番

京城日報
第三版
大阪三品
廿三日朝刊（夕刊と合せて八頁）
本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾錢 郵稅共一ヶ月壹圓九拾錢 三ヶ月壹圓七拾錢
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別欄內一行金壹圓 ▲所定一行金壹圓拾錢 ▲字の一行は二號活字同樣 ▲五號活字一行は五號活字同樣
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯局長三四五番 營業部長三六番 振替貯金口座京城三〇〇番

京城日報 經濟調査

經濟の發達に伴ひ、事業經營の組織規模も亦複雜擴大に趨き、新たなる事業の起るに隨て、新たなる智識の必要を告げ來り、少しく油斷すれば、著しく財界進歩の潮流に後る。今日何事と雖も、豫め計畫することなくして、能く成し得べからず。殊に經濟的施設經營に至りては、最も周到綿密の計畫の下に、初めて遺憾なきを得べし。

近時歐米に於て、或は銀行業、或は鐵道事業、或は海運業、或は製造工業等、苟くも業務の複雜にして、殊に對外關係の密接なる事業にありては、皆其事業の一として經濟調査の機關を設け、其の完備を競ふ。斯の如きは今日に始まりしにはあらざれども、近年殊に其の傾向の著しきを見る。英國と謂ひ、佛國と謂ひ、米國と謂ひ、何れの國に在りても調査制度は頗る發達し居るが、就中最も組織的にして其の效果を發揮せるは獨逸なり。獨逸の產業が近世に至りて目覺ましき發展を遂げ、今回の大戰亂に於て能く四面に强敵を受けて屈せず、多々益々辨じて尙餘裕を示すの觀あるは實に多年繼續的培養し來りし經濟力の鞏固なるに因らずんばあらず。而して獨逸經濟の發達は實に各階級に亙りて獨逸國民が、生平如何なる事にも研究調査の限りを盡し用意怠るなきに負ふ所甚だ大なり。

凡て事業を企つるに、豫め周到なる調査を遂げ、之れを基礎として爲すにあらざれば、輕微なる粗漏誤算も、軈て由々しき損失を招かんも亦測り知る可らず。貿易と謂ひ、金融と謂ひ、其他關係の複雜なる企業に在りては、最も此の經濟調査を必要とせずんばあらず。我邦に於ては、滿鐵が東亞經濟調査局を設置し有力なる學者を聘して其の指導の下に、多年歐米著名の新聞雜誌其他の刊行物に就き、百般の經濟資料を蒐集考査して、之を彙類保存し、自社の用に供する以外、事情の許す限り江湖に向つて之れが利用の便を計りつゝあり。他に未だ斯種半公共的調査局の存するを聞かず。我が朝鮮銀行の如きも、相當に完備せる調査室を有し、自行に必要なる經濟調査を爲し、時に世人に資料を與ふと雖も、猶ほ之が利用[illegible]云ふ可らず。然れども今日[illegible]に對して、經濟調査の資料を公衆に開放し提供せよとは、或は無理の注文ならん。故に單に自己の必要のみに對しても、會社、銀行其他商工機關が出來得る限り經濟調査の爲めに努を吝まず努むるところあらんを、吾人希望して已まざる也。

範之和尙を憶ふ

今日は、讀者、知己、有志等の發起にて、故範之武田大和尙の、第七回忌豫修大法會を、萬龍山瑞龍寺に於て執行す。洵に好擧なりと云ふべし。

和尙は越後の産、曹洞派に屬し、東頸城郡顯聖寺に住職たり。性活達、法道の蘊蓄深く、衆生濟度の傍、常に國事を思ひ、密に蹶起の機の至るを待ちたり。時は正に明治二十六年、妖雲は東亞の空を掩うて、朝鮮半島に於ける帝國の權威は、動もすれば他の凌辱に遇はんとし、黃龍旗は獨り翩翻として、雞林の山川を壓し、無辜の半島國民は、外邦の奴隷たらんとし、爲に政爭は、日に次ぎ月を追うて勃發し、洵に傍觀を許すべからざるの期に遭遇するや、和尙は決然身を挺して、同志と共に渡鮮し、一方國家の權威を示し、一方朝鮮國民を、其の塗炭より救はんとし、鍛縱横、智勇能く、侍天敎徒を助けて、一進會の目的を貫徹せしめんとせり。卽ち和尙史中の大活躍は此の秋にして、天祐俠の俠仁は天下の知る處、和尙は實に其の頭目たりし也。一進會の勃發は、端なくも日淸の戰役を惹起し、帝國は一躍東洋の覇王を以て任ずるに至る。其れ和尙の功や、與て大に力ありと云ふべく、又た沒すべからざる也。茲に於て和尙が、最初の目的は、既に其の半は成就したりと雖も、其の大志は、更に大なるものありしなり。日淸戰役後朝鮮に於ける、帝國の權威は、又た前日の比に非ずと雖も、尙ほ進んで、之れが確保を得ざるべからず。和尙は半生の蘊蓄を披瀝し、一進會の顧問となり、親しく五十萬信徒の指導に、大義名分を論じ、其間半島に於ける、帝國々權の增進を計り、遂に一進會の大義に盡し、老來益々精勵なりしも、遂に病を得て遷化せり。然れども和尙が心血を注ぎたる、帝國々威の宣揚、國權の伸長も、今や全くなり、半島の國民は、我聖恩の宏大無邊に感泣し、新政の有り難きに喜ばざるなし。

孝昌園邊、瑞龍寺畔、老松の梢を渡る晴嵐は、今も昔に變らねど、和尙逝いて既に七年、されど今日知己尙ほ多く、茲に在天の英靈を祀る、和尙又た瞑すべき哉。

三道隨行記　中島生

七、尙州に到る

○梨花嶺に於て柳忠北道長官等と別れ、此處に出迎へたる鈴木慶北道長官等に道案內せられて、一行は山路を下り、尙州に志す。余は道境に乘ずることを得、これにて此一日の心配は先づ打切る事を得たり、又多幸なりと謂ふべし。

○鳥嶺登攀の遲緩なりしに反して、道境一たび過ぐれば、快車疾驅すること飛ぶが如く、直ちに聞慶に著す。聞慶は主屹山の麓、京釜街道の要衝として、往時は殷賑を誇り居しが、鐵道開通後、寂寥を慨つに至れり。然れども、道路今や改修せられ、交通の便を加へ來りしが故に、地方產業の開發に伴うて、物貨の出廻りも盛んとなり、漸次に舊時の繁榮に復らんとす。此處には聞慶郡廳あり、官民多數出で迎へ、總督は暫時車を駐めて、民情を視たり。

○聞慶を出づれば道路坦々として、殆ど一直線に尙州に通ず。同乘せる尙州憲兵分隊長三雲中尉並に牛尾道書記は、余が爲めに沿道の狀況につき、懇切に說明を與へ、得る處頗る大なりき。尙州郡は、慶尙北道隨一の養蠶の盛なる地方にして、慶北道は朝鮮に於て最も蠶業の發達せる地方なるが故に、尙州郡は朝鮮隨一の養蠶地方なりとの三段論法を應用して牛尾君は此道に於ける蠶業狀況につき說明したり。慶北の繭年產額は大正三年一萬百八十三石、同四年には一萬一千七百餘石、而して昨四年度には約一萬六千石に激增し、試に三年度の數を全朝鮮の總產額四萬千百九十四石と對比すれば四分一强を占め、他の道に傑出せる成績を示せり。沿道一帶桑園多く、如何にも盛なる養蠶地方と首肯かれたり。

○咸昌を過ぎ、十一時半尙州に到著、一般の出迎甚だ盛大にして、總督は徒歩して一々應酬し、再び自動車を驅りて、邑より約一里の農商工部鑛務課出張所に到る。尙州附近は慶北に於ける金山地帶にして、將來甚だ有望なるを看取し、鑛務課は大正三年六月此處に出張所を開設せり。少しく尙州の金鑛につき、時節柄次に略敍すべし。

日本文化の淵源（三）

文學博士 物集高見氏講演要領

僧侶の傳へし文化

日本文化の淵源は前述の如き手續を以て朝鮮を仲介として漸次開けて來たのであるが其の原を訊すと佛法に伴ふ僧侶が渡つて來て樣々の事を行ひ文化の進運を助けて居る第一書物の讀法を敎へたのは僧侶であつた應神天皇の時に論語千字文等の書物が渡來し以來時々支那朝鮮から書籍が渡つて來たが當時は儒者と云ふ者は無く專ら僧侶が書物の讀み方を敎授したものである斯んな方面から當時の僧侶を見ると彼等は恰も儒學を副業として佛學を正業として居つた樣な觀がある

▽僧侶が死人の魂を地獄から引張り出して極樂の方へ追ひ遣ると云ふ樣な事は近世の事で其の時代の僧侶と云ふものは決してそんな者では無かつた先づ彼等は世間を遍歷して道の無い處には道を通じ河には橋を架けて人民の交通を助けると云ふ風であつたから上代の道路とか橋梁とか云ふものは殆ど無い位ゐであるそればかりではない、家屋の建築庭園の搆へ方まで僧侶が敎へて吳れたのであるが其後に至つて床の間とか玄關とか云ふ物が出來たが之等も皆な僧侶の敎へて吳れたものであるから何れも

▽其名は佛家の語である書院、床、玄關、香爐、活花等一々擧げ切れぬが玄關の如きも玄々の關門と云ふ言葉から來たものである繪畫も亦始めは佛像を畫き花鳥を描いたのに始まつたのである。それから音樂、これも佛敎の方から來たもので日本在來の樂器には笛と琴とが有つたが極めて幼稚單調のものであつたが其後に至つて佛敎の儀式に用ひて居つた隋唐の舞樂が輸入せられた。又彫刻の如きも始めは佛が佛像を刻み又は佛前に供へる置物などを刻んだのに始まつて居る、殊に醫藥は僧侶の傳へた處のものであつて

▽昔の僧は醫師まで兼ねて居つた。道も開けば橋も架ける家も作ればその家の中の日用の諸道具を拵へる繪も描けば彫刻もする其の上病氣を治療する醫術までも傳へて人民の幸福を增進する事に一方ならぬ貢獻をした此の時代に僧侶は佛敎を傳ふると同時に實世間をも幸福に導くと云ふ事に努力して居つた。處が只今の僧侶達は如何であるかと云ふに今の坊さん達はお釋迦樣のお經文には無い事ばかりして御座る人が多い。戒名を付けたり引導を渡したり年忌法要だの

▽佛前讀經だのお墓を建てたりする事を本業に致て居るが甚だ怪しからぬ事である昔の僧侶は死人に近寄る事は一種の穢れとして禁じられて居つた然るに只今の坊さん達は無暗に死人に近づきたがる樣になつて來た佛經を經論律の三藏と云ふが此三藏の內の何れの經文の中には僧侶が死人に近寄る事を嚴禁して居る、又今の坊さんは死人の冥福を祈つたり幽靈が出て來ない樣に引導渡したり佛前で經文を讀んだり石碑を建てたりするが此れも間違つた話だ佛敎は

▽輪廻轉生を說く（敎で人が死ぬと其の靈魂は四十九日の間宇宙に迷つて居るが四十九日が濟むと轉生する又元の人間に甦へるか犬になるか牛になるか又草や木に生れるか何にしても四十九日經てば何にかに其の魂魄は宿つて生れて來るから幽靈なんぞと云ふものは無い譯である化けて出ようにも四十九日經てば化ける魂が無い牛に生れ更つてもそれは矢張り牛であつて幽靈ではない。それだから長い間年忌法要を營むなんぞは馬鹿氣て居る從つて戒名なんぞも要らない第一お釋迦樣にも戒名なぞは無い。

日報歌壇

□夢房　向仲 青果

陽炎の若葉に映ゆる午後の日を窓に居てエーテルを嗅ぐ
わが弱き小さき心を抱きかばひ世を渡る身の心細かり
何故と自ら知らずはむかひの心を擁き世を拗ねるかな

□祈念　平井 忠道

聖念にサタンの入りし此の心淨め給へと祈るなりけり

新界の記錄を破る◀問題の秘書▶ 東京心理學會長 松方正憲先生著

瞬間催眠術

分秒の刹那に何人をも感應さする

好評忽三版 (直接注文 優待券附) 定價壹圓廿錢 送料拾貳錢

東京心理學會 東京牛込區矢來町三五 電話番町二八三三番

賣捌 東京神田表神保町十 興樂房 振替東京四四九六

新刊書御案內

◎法律講義 阪上稱吉 特七五
◎民法演說試驗提要 永野清 同四五
◎信書精囊上下二 中川靜 一九五
◎練習式手紙の文 中村 六五
◎實用ペン習字帖 黑柳勳 一二〇
◎建築圖案集 一三〇
◎英和對譯法師曲 七五
◎セリスピア物語 一五〇
◎實習史語字 一七〇
◎南軍通覽 四五〇
◎つれ〴〵草 芳賀矢一 八五
◎西洋芝居土產 坪來士行 一四〇
◎我等の一團と彼 石川啄木 三五
◎馬消艷史 九五
◎ロスメルスホルム 一二〇
◎グリム御伽噺 中島孤島譯 一二〇
◎佐久間象山 一二〇
◎天理敎祖御裕傳 二五
◎觀世流の友 五八〇

大阪屋號書店 京城本町 電話二〇八六 振替京城二五七三

樂器御案內

▲山葉オルガン
▲ヴアイオリン
▲マンドリン
▲尺八
▲明笛
▲大正琴
▲ハモニカ
其外樂器類一切取揃居候地方は往復ハガキにて御照會願上候

京城 勢山樂器店

◎桑新種子廉價提供
魯桑種子特價壹舛武圓七拾錢無送料
普通桑種子特價壹舛壹圓五拾錢同
桑は新種を蒔付けざれば發芽せずこれが取扱は迅速且つ正確を要す弊園は尤も古く尤も正確に諸君の需用を充しつゝあり安心して直ぐ注文あれ
但前金又は內金掛込あれ
攝津國川邊郡山本村 阪上產樹園
振替大阪一九二三

◎旭日昇天の大壯觀

中學生

六月號本日出來 每月一回一日發行 定價一冊金拾五錢 送料一錢 六ヶ月分金九拾錢 一ヶ年分金壹圓七拾錢 送料共

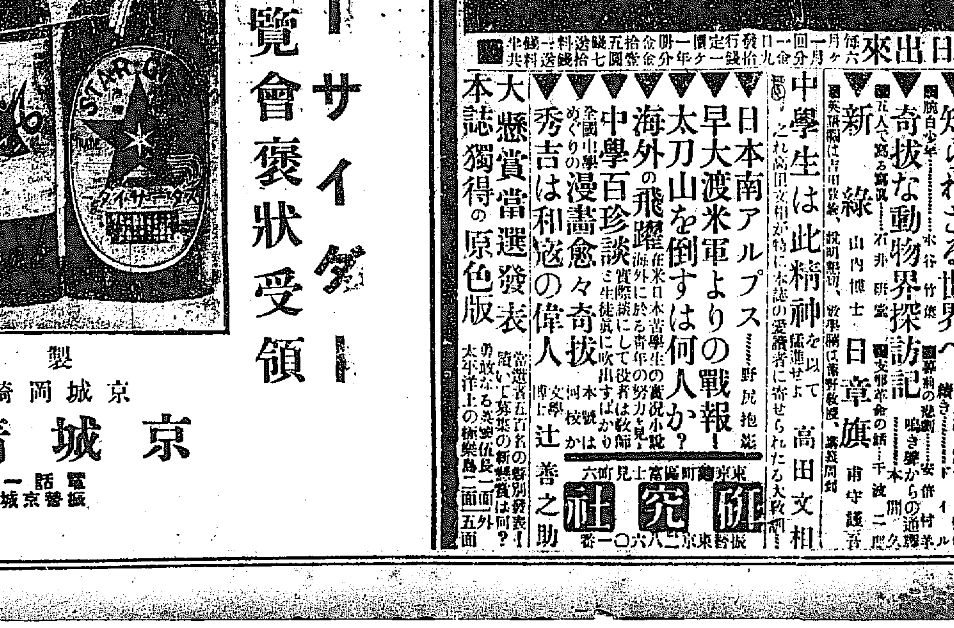
新着眼の編輯を以て活動を開始せる本誌は一躍して中學雜誌界の覇王となれり
▼我輩は「米」である（面白くてタメになる一等米の身の上話、植物生理の好參考!）
■地底の秘密……宮地竹峰
▼人間一生の飮食
■花和尙魯智深……五湖
■僕の花壇……木村小舟
▼知られざる世界へ
■本能寺前夜……平井晚村
▼奇拔な動物界探訪記
■腕白少年……水谷竹紫
▼新綠 山內博士
▼日章旗 甫守謹吾
▼中學生は此精神を以て猛進せよ 高田文相
▼日本南アルプス……野尻抱影
▼早大渡米軍よりの戰報!
▼太刀山を倒すは何人か?
▼海外の飛躍
▼中學百珍談
▼全國中學めぐりの漫畫愈々奇拔
▼秀吉は和寇の偉人 文學博士 辻善之助
大懸賞當選發表
本誌獨得の原色版

東京麴町區富士見町六 研究社 振替東京二八六〇一番

少年 六月號 少女

初夏の好讀物 日本一の兩誌の新裝を見よ!!!

定價各十錢郵稅一錢五厘 東京 時事新報社 發行



スターサイダー
大正博覽會褒狀受領
始政五年記念朝鮮物產共進會銀牌受領
製造元 京城岡崎町八番地
京城淸凉社
電話一二四〇番 振替京城一九二一番

仁川米豆取引所

◎佛藏相ヴ氏の演說

露佛同盟二十五年祝賀會席上

露都に於て開催中なる露佛同盟締結二十五年記念祝賀會に際し露都訪問中の佛國藏相ヴキウアニ氏は演說して曰く露佛同盟は世界の平和を保證せんが爲め締結せられたるものなるが歐洲の一帝國（獨逸）が過去四十四年に渉り孜々として軍備に努め遂に人類に對する頑迷なる大逆殺を敢行するに當り歐洲全土を舉げて殘忍狂暴の巷と化し去れり然も獨逸は歐洲各國が到底協力一致の行動に出づる事無きを豫想したるに何ぞ圖らん獨逸は聯合諸國の團結確固たる同盟及び其の强大なる軍備勇敢にして堅忍不拔なる露國陸兵及び神速にして豪勇なる日本海兵を敵として之と雌雄を決するの止むなきに至れりと猶同氏は結論して曰く吾人は吾人の子孫をして正義人道の上に確守せられたる歐洲に存在する權利を獲得せしめんが爲め此の任務を果さゞる可らずと（巴里電報）

◎露騎兵隊英軍と合す

倫敦來電に據れば露國騎兵隊はチグリス河畔に於て英國軍隊に合せりと（紐育特電）

◎獨軍英陣地に殺到

ヘーグ將軍の公報に曰く獨軍は猛烈なる砲撃の後十九日夜に至りルースの西南に於ける我が戰線に殺到し前部の壕に侵入せしが直ちに驅逐せられたり敵はヴィミー山の西方に於ける我が陣地を襲撃せんと企てたれども擊退せられたり又ノースランカシャヤー聯隊は敵が十八日占領したるヴィミー山脈の一部を奪還したり（倫敦電報）

◎東拓會社株主總會

東洋拓殖株式會社第八次株主總會は二十二日午後二時東京商業會議所に於て開會さる豫て一紛擾あるべしと豫想されたることとて傍聽席には各社四十餘名の新聞記者詰め懸けたるが會場には百餘名の出席者を見たるも其中株主は僅かに三十餘名に過ぎず案外靜肅の光景を呈せり會社側よりは吉原總裁、井上理事、堀井秘書役出席入江理財課長臨席聽て吉原總裁は議長席に著き開會を宣し出席株主委任狀共百十六名株數十五萬一千九百七十九株決議權數九萬二千九百六十に達せるに依り總會の成立せる旨を告げ次に事業成績の報告終るや總裁は語を更め營業の不成績に加へて前議會に於て會社法改正案提出せられ事實上補給金を失ふに至りしに付ては重大なる責任を感じ既に總督の手許迄辭任を申し出で其の命を待てる次第なり而して政府よりは何等の指令なきも在職の責任上補給金無しに會社を經營するの方法に就て考慮を費しつゝあり但し此の場合に於ては遺憾ながら從來本會社の特色とせし公益事業の經營の如きは之を縮少せざるべからずと述ぶるや大阪方の株主より此の際會社の爲めに盡力せられたる重役諸士の去らるゝは私情として忍びざる所なれど目下局面を一新せざれば會社の存立危險なれば致し方なき次第なり猶一言希望を述べ度きは昨年株主の決議權を縮少する案出でたるも今後法律を設けて定款を變更するが如き事なきを望むと述べ次で又大阪方の株主よりは重役を明示されたしとの要求あり之れに對して總裁は正副總裁は總督迄井上、林、兩理事は副總裁迄提出せりと答へ次で東京側株主より補給金を失ひたるは株主にも亦責任あり要するに政黨の爲めに利用攪亂せられたるの觀あり株主は獨り重役のみを責むる事なく重役を援けて補給金の繼續を期すべしとの意見を吐露せり後貸借對照表、勘定科目貸付金、利子步合、役員賞與に付き質問出たるも無事原案可決次で監事補缺選擧を行ひたるに其の結果楠本元之進氏當選し三時卅分散會せり（東京特電）

◎總長署理

次長署理任命

二十一日閣命令にて農商總長周自齊は財政總長署理に李思浩は財政次長署理に兼鹽務總長に李國珍は敎育次長署理に任ぜられたり（北京特電）

◎樞府委員會議

廿二日樞密院特別委員會議を開催し工場法施行令に關し凝議せり（東京電報）

◎電車の反動にて怪我

十九日午後四時四十分頃京城電氣株式會[illegible]丁目山口つス（二）は車內に轉倒し治[illegible]

[illegible]に黑布を纏て面を包み手に手と小刀一[illegible]

◎貿易依然出超

五月中旬の外國貿易は輸出に至りては生絲の增加せしに拘らず屑絲、羽二重、綿織物、銅、燐寸等減退したるを以て前月に比し五分を減少し輸入は主として綿花の激增に依り二割四分增加したるも輸出入差引は卅九萬一千圓の輸出超過を示せり（東京特電）

◎軍人後援會總會

帝國軍人後援會にては二十二日午後二時より築地水交社に於て總裁伏見宮貞愛親王殿下の台臨を仰ぎ第十七回總會を開き大隈會長、加藤海相、大島陸相以下評議員等約三百名出席總裁伏見宮殿下より令旨を賜ひ大隈會長奉答の辭を述べ次で松村海軍少將より會務の報告あり終つて茶菓の饗應あり午後五時散會す（東京特電）

◎タゴール氏在期

印度詩聖サー、ラビンドラ、ナート、タゴール氏は去月卅日日本郵船汽船土佐丸に搭乘しカルカツタを發したるが遲くも今月末に着京の豫定にして日本滯在期は三箇月間也と（東京電話）

◎政務總監通過

山縣政務總監は二十二日午後八時三十分大阪通過歸任の途に就く（大阪特電）

◎平福畫伯渡鮮

平福百穗畫伯は二十二日午後四時東京出發鐵路渡鮮の途に上れり（東京特電）

◎師團長視察

立花師團長は二十三日朝羅南發行營に向ひ國境を視察する筈（淸津特電）

◎鮮銀の一覽拂手形發行

滿洲にのみ流通せしむ＝勝田總裁談

朝鮮銀行が滿洲に於て小額の一覽拂手形（流通の點は銀行券と略ぼ相同じ）を發行せんとするの議は年來の問題にして曩に勝田總裁が東京に於て武富藏相と會見の結果懸案の解決に一步を進めたりとの說あり所謂然る最近の閣議に於て其の發行の件を通過したりと聞き勝田總裁を訪ひ該件を聞くに曰く、鮮銀一覽拂手形發行の件閣議の承認を經たりとの電報は來れり乍然該手形の發行は朝鮮總督の認可を要するに付未だ正式の指令には接し居らざる譯なるも銀行としては諸般の手續きを了し次第直に**滿洲各支店及び出張所をして市場に放出せしむべく其期は多分六月に入るべく最初は約三十萬圓內外の發行に止まるべし**無論流通の狀況によりては發行額は累增すべく又手形の額面は十錢廿錢及び五十錢の三種にして夙に龍山總督府印刷所に委囑し其の印刷を終れり元來帝國政府の滿洲通貨に對する方針は金本位貨幣流通の擴大を企圖すと云ふにあり鮮銀の南北滿洲發展及び銀行券流通區域の擴大といふが如きは一面に於て其の政策に副ひたるものと云ひ得べし唯銀本位の國に假に大小の金建貨幣を一時に流通せしめん事は頗る困難なれば成果は時の經過に待たざる可からず、今回發行する小額一覽拂手形も亦此の意味を有するものと見るを妥當とすべし尙ほ其の鮮銀券若しくは日本銀行券との引換へは滿洲各支店出張所のみに限り朝鮮にては絕對に其の通用を禁止しあり云々因に最近傳へて鮮銀が滿洲に於て小額銀行券を發行する樣報ずる者あるは一覽拂手形發行を誤傳せしものなり

◎師團長以下歡迎

羅南市民は二十一日夜娛樂場に師團長旅團長以下各隊將校を招待し盛んなる歡迎會を催したり（淸津特電）

◎滿洲の柞蠶（二）

▲蠶種 支那の柞蠶は多く二化性に屬し春秋二季に發生す其發生時期は地方の南北に由りて異なりと雖も大概春蠶は舊曆三月上旬に發蛾し三日を經て產卵し舊四月上旬には孵化し四眠を經過し夏至の頃に上簇大暑の時節に收繭するを常とす又秋蠶は舊七月上旬に發蛾後二日にして產卵し十一二日を經て孵化し三十日を經過して上簇舊九月中旬に收繭す

▲收繭率 奉天省所產の繭は之を吉林省に比すれば其品質優良なるが就中寬甸縣の永甸、長甸、鳳城縣の[illegible]城、安東縣の大河岸地方、岫巖縣の東山地方を最良となす其收繭率は正確の統計なきも大概一把剪子の收穫は北方の六萬個、南方は七八萬個たり今試に二三地方に就き其收繭を比較すれば

地方	摘繭數	豐收の收繭高	凶收
寬甸	四,〇〇〇	八〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇
岫巖	六,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇
蓋平	五,五〇〇	一〇〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇

以上は十年間の統計なるが此十年間に於ける豐收は寬甸一回、岫巖四回、蓋平二回、又凶收は寬甸二回、岫巖二回、蓋平三回にて其餘は皆中收にして即ち寬甸六回、岫巖四回、蓋平五回而して中收に於ける收繭高は寬甸五萬個、岫巖六萬個、蓋平七萬個にして十年間の平均每年收繭高は寬甸五萬個、岫巖六萬個、蓋平八萬五千個なり

◎新暗礁發見

本月一日汽船海雲丸船長若澤兵太郎氏より總督府宛報告に依れば朝鮮南岸慶尙南道南海島彌助洞南方の海に於て未だ海圖に記載なき左記暗礁を發見せりと

一、位置 慶尙南道南海島彌助洞南方の海面

一、暗礁の經緯度 東經一二八度二分四〇秒 北緯 三四度三分三〇秒

一、水深 低潮時 一呎二分の一

暗礁は三個より成る礁脈は連續せるものゝ如く北西より南東に稍延びて其最大なるものは長約十五六間幅約五六間なり其西方約八間に長四五間幅約三間のもの及其西方約七間に七八間幅約三間のもの也

一、關係海圖 第三〇號第三〇四號第一二五號

◎朝鮮輕鐵の起工準備

豫て起業計畫中なりし朝鮮輕便鐵道株式會社は旣に報じたる如く本年一月一日附を以て大邱より慶州尙山線山東萊に至る線並に慶州浦項間及尙山長生浦間の百三十餘哩の鐵道敷設を出願し二月十五日附許可を受け會社設立も亦同月十八日許可せられしを以て創立委員に於ては直ちに株式の募集を爲し四月十日を以て全部六萬株三百萬圓中の四分の一第一回拂込を完了し同月二十九日創立總會を東京に開催して茲に會社成立を告げたるが同社の株主を兩別すれば東京最も多く百七十一名此株數三萬二千六十五株、而して朝鮮は第二位を占め人員は四十九名なれど株數は一萬千五百株に上れり同社は本社を大邱に定め既に事務所を決定して事務を開始し居り目下線路の技師長決定したれば該區域の詳密なる調査の決定を俟ち直に工事の施工認可を申請すべく諸般の準備中にて本田社長、佐藤專務は目下是等の用務を携へて滯京中なり

◎物集博士歸京

二十二日仁川支局主催の講演會に臨みたる物集文學博士は盛況裡に講演を終へ同夜歸京したり

◎物集博士を招待

高野三井物產支店長は二十一日夕より入京中の物集博士を主賓とし關屋局長、淺見判事、鎭南浦中村辰五郎氏等を自宅に招待し主客打寬ぎて歡談に時を移したるが殊に博士と淺見氏との間には朝鮮に關する樣々の歡話交換せられたり

◎兩上院議員歸京

元山方面視察中なりし石渡、和田兩貴族院議員は二十二日午後五時二十二分南大門驛著列車にて歸京したり

◎內地人牧師懇談會

京城在住の內地人基督教牧師及び同關係者約八名は來る二十九日午前十時頃より漢江對岸の桃山なる志岐信太郎氏別莊に於て懇談會を催し種々傳道上の打合を爲すべしと

◎安東縣より

▲世界の新現象 今春解氷以來安東の經濟界に注目す可き二現象起れり其一は鴨綠江材の上海輸出にして他の一は邦人の手に依る豆油の內地輸出是なり由來鴨綠江材は滿洲北支那及び朝鮮方面へ輸出され上海は北海道材及び米國材の需用地にして曾つて鴨綠材の取分を爲したる事なかりしに歐洲戰亂の餘波を受けて前記兩地產材の上海輸入杜絕となり其結果自然鴨綠江材の需用を喚起するに至り今春初めて其輸出を見たる譯なるが一方豆油は從來殆んど總べて支那人の手にて輸出し居たるを是亦今春に入り邦人の手に依り初めて直接內地輸出を爲すに至れるものにて二者共に當地財界の新現象と謂はざる可からず

▲東邊道尹更迭 東邊道尹方大英氏は辭表提出中なりしが今回愈々聽許され其後任として何安東稅關長任命せらるべしと傳へらるゝ

▲前田博士講演 文學博士前田慧雲氏は目下滿鐵沿線巡遊中なるが來る二十四日午前十一時三十五分列車にて五龍背より來安午後四時より西本願寺に於いて講演を爲し同八時より滿鐵讀書會支部の主催に依り公會堂にて一場の講演を試みる由

▲藤澤參政官 內務省參政官藤澤幾之輔氏は二十四日新義州著一泊の上安東新市街を視察して京城へ引返す可し

▲守備隊長更迭 安東守備隊長たりし大尉川幡正綱氏は這回少佐に陞進し同時に札幌聯隊區司令部へ轉任となり二十二日午前十時四十分列車にて出發大連經由赴任其後任として山口步兵第四十二聯隊より大尉山口義介氏二十三日着任す可し

▲平北隊長會議 平北警務部にては六月五日より三日間管內隊署長を召集し會議を開く

▲學生の修學旅行 安東小學校にては昨今各學年共附近各地へ一日遠足を爲し居れるが上級生の中尋常科六年生は二十一日の日曜日に鳳凰山登りを爲し高等科一年生は二日間の豫定にて本溪湖迄同二年生は五日間の豫定にて長春迄何れも二十三日頃出發修學旅行を爲す由

▲山口高商生徒 山口高等商業學校生徒四十八名は職員二名引率して廿五日夕刻奉天より來安市內を巡覽し一泊の上二十六日朝出發南行す可し

物集博士と操觚界

[illegible]

人事消息

▲物集文學博士 入京中の處二十三日午前九時十分發列車にて平壤に向ふ筈

▲宮井小太郎氏（代議士） 二十三日午前九時十分南大門驛發滿洲視察の途に上る筈

▲川村竹八（三十三聯隊中隊長） 二十二日夜入京山本旅館へ

▲岡部泰藏氏（明治生命重役） 二十二日夜入京朝鮮ホテルへ

▲野呂榮義氏（工學博士） 同上

▲武田一郎氏（朝鮮輕鐵重役） 同上

▲淵上吉次氏（同） 同上

南言北語

墺軍が國境を越へて伊國に侵入したこと▲其樣な事は無い約束だつた▲イヤ約束は得手して當てにはならぬ▲[illegible]が多いとは此奴は困る▲トレントも未だにトレ不申退却仕候では相濟ぬ譯だ▲殊に獨逸はサーニカに迫つて此の方面に捲土重來の方針らしい今日之れや大に心細い▲心細いと云へばまだ出來たての段內閣も總辭表を提出したのでふや〳〵の相た▲上げも卸しも出來ぬ四百四病の外の病氣おや島渡名醫の治療も利くまい▲機關雜誌が「列國は敵で支那の破綻を待んとするか」と悲鳴を上げて居る▲待たんとするのではない自ら進んで破綻するのではないか▲道樂息子が放蕩を盡して何故己れの破產を見て居ると怒つた處で親の成ても誰れが聞くものか▲一層何うか整理をして下さいと云て來れば其れなら話の聞き樣もないでもあるまい▲伊達家の珍寶の値段が豫定の百萬圓を超へたとは素晴しいが▲雲州松平家秘藏に係る不昧公の遺物は優に千五百萬圓を超ゆると云ふ上には上のあるもの▲だ持つべきものは寶なりけりかね▲中央公論で端なくも更らに天下に名を揚げた吉植庄一郎君▲過日某所へ電話をかけて「私は中央新聞の吉植ですが」とやると▲「中央新聞の吉植さんですか中央公論の吉植さんですか」と問ひ返したので流石の吉植君も二の句が續かなかつたとは皮肉だ▲例の公判で高松に滯在中の林田龜太郎君に辯護士連が「粹客の末路がかうしたものでは致し方が無いではないか」と嘲れたら▲林田君は眞面目になつて「イヤ粹客でも何でも無い痴漢の刑場は古來こんなものサ」と答へたさうぞ

[illegible]あり午後[illegible]したるに依り仁川警察署より現場に[illegible]死者は年[illegible]

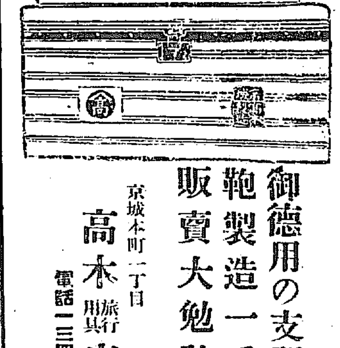
◎豺山羊を咬殺す

五月十七日午後十時頃鎭南浦龍新里佛國天主教會堂下の[illegible]大豹現は[illegible]同教會[illegible]

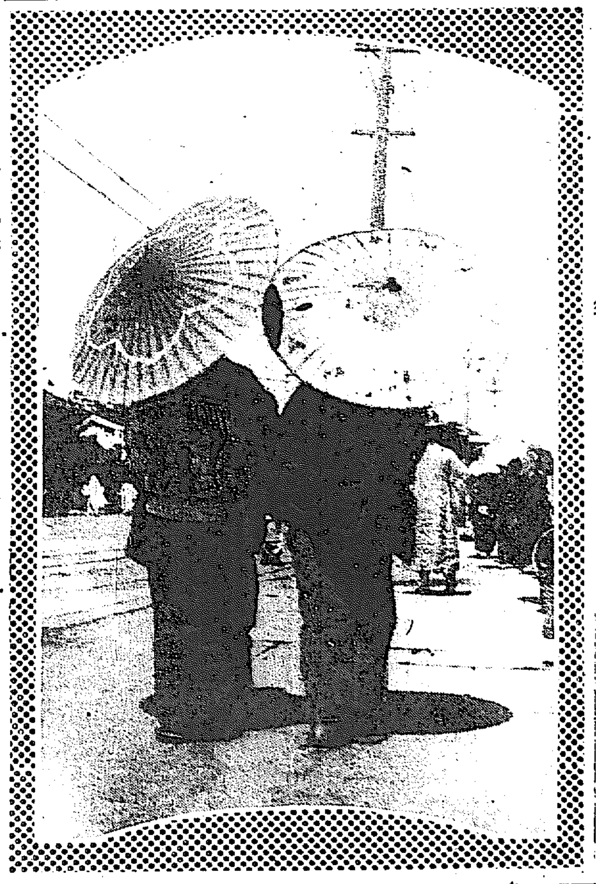
◎手術服 一圓五十錢以上二圓三十錢迄
◎看護服 一圓七十錢以上二圓五十錢迄
◎事務服 ケジス地にて二圓五十錢以上三圓迄
其他御好により何品にても調製仕候
○地方の各位樣御一報次第見本地及特價表送附仕候
京城黃金町二ノ一三三（電話一〇八七番）
專門裁縫店 東屋茂木

家庭雜誌
家庭改良號
今後の家庭と主婦 八代中將夫人
▲家庭改良組合の必要……本誌記者
▲學校の不備を家庭で補へ……大村忠治郎
●理想の家庭を作る方法……毛戶法學博士
▲食事の改良と家庭……後閑菊野子
▲苦しい經驗と新しい覺悟……鳩山春子
●改良すべき家の經濟……井上女史
家庭改良諸案
▲消費組合を利用せよ……大敎授
▲子供の間食と改良
▲訪問時間を改めたい
▲家事不取締の見本
家庭改良諸案
▲贈答品を廢止したい
▲豫算外の貯金方法
▲主婦の修養に努めよ
▲其他參考資料滿載
●社會百生活（各階級の家計研究）
▲私の考へてる家庭の改良……田中芳子
▲娘の躾け方を改良したい……下岡代議士
▲長篇小說 黃菊白菊……後藤宙外
▲寄所まきの改革が急務……柏原璞子
▲私どもの家庭の時間割……加藤つね子
婦人を臺所より救へ 山脇春樹
六月號 定價二十錢
東京 博文館

農具 蠶具 肥料 ……各種……
□農蠶界の盛季來る
業務擴張 品質精選 廉價を以て御需用に應ず可く候
營業案內御通知次第發送
京城南大門外
朝鮮勸農株式會社販賣部
電話四〇三番 振替口座三七八番

東京製鞄 旅行用具一切

御德用の支那鞄製造一手販賣大勉强
京城本町一丁目 旅行用具 高木店 電話一三四番

…中一人の鮮童が急に線路を橫切らんとしたる爲め運轉手は急に停車したる途端其反動にて乘客なる明治町…
…洙方へ五月十三日午前三時頃年齡何れも三十前後の男三名白木綿の衣類…の所々を…せしも…にありし籾栗八斗價十三圓餘りのも…
…道同郡北面東坪里の李康植が大…
大阪期米特電
▲穀塲落付
…▲大豆 …



日傘　……南大門通……

生蕃物語

七ツの異つた種族　全面積の五割四分

＝支那人は祖先の仇　鄭成功の理蕃策＝

土地調査局調理課長　工藤壯平氏談

自分は今回渡臺した序を以て聊か生蕃を見て來た併し自分か實際に見たのは生蕃の一部分であつて其の時日も餘り長くは無かつたが持ち歸つた各種の材料を綜合して生蕃に關する概念と珍らしい彼等の社會の物語とを致します

□一口に生蕃人

と云ふが彼等は七つの異つた種族に分れて居る其の種族はタイヤル、サイセット、ブヌン、ツオー、パイワン、アミ、ヤミと稱し此の各種族は全然言語を異にし其の風俗慣習も亦多くの異つた點を有して居る生蕃の總數は現今十三萬二千二百餘であつて猶年々增殖の傾向を有して居る、此れを各種族の人口に分けて見るとタイヤル族六千戸三萬二千人サイセット族二百戸一千人

□ブヌン族二千戸

一萬七千人ツオー族二百戸二千人、パイワン族八千戸四萬一千人、アミ族四千七百戸三萬六千人、ヤミ族三百戸一千六百人と云ふ割に爲つて居る男女の數の比は女の方が聊か少いやうではあるが大略男女平均して居る、彼等の生棲して居る面積は臺灣全島の五割四分の廣さに亙つて居る元來彼等は臺灣全島に棲息して居つた處へ其の後支那からの殖民に土地を侵略せられて漸次

□山間に退却する

の止むを得ざるに至つたのであらう其故に生蕃の方から云へば現今の臺灣土人たる支那民族は祖先以來の仇敵であるから支那人の首を取る事は彼等に取つては祖先の復讐であり又祖先の怨を晴らす事になる、斯んな關係から彼等は長い年月の間新らしい移住者に反抗して居る支那の領有時代に在つても理蕃策には隨分手を燒いたもので或時は溫和策を取り或る時は

□苛酷の政策を取

つた事もあつて其の方針は一定して居らなかつたが彼の明末の忠臣鄭成功の理蕃策は此の間に在つて比較的成功したものであつた日本の領有に歸してからも其の理蕃策は常に改易されて未だ一定の方針と見るべきものがない時には恩惠のみを以て之れに臨み時には高壓政策のみを取り或は恩威並び行つた事もあり佐久間總督時代の後半に在つては

□徹頭徹尾壓迫策

をのみを取り之れが爲め千六百萬圓の巨財を投じたけれども其の獲たる處は僅に蕃地を聊か縮少したるに止まりたるのみ其他に多く見るべき成蹟は擧けて居らぬ生蕃人は今も猶全島の半以上を掩有して其の境界の危險なる處々には現今猶鐵條網を張り高力なる電氣を通じて其の襲來を防いで居る、最近の事と聞いて居るが恒春に近い處で二名の日本人と土人が兇手に斃れた程であつた（つゞく）

範之和尚

＝七回忌法要＝

二十三日龍山瑞龍寺に七回忌の法要が行はれる故洪疇武田範之大和尚に付いて傳ふべき事が多い、和尚は筑後久留米の藩士澤田兵衛氏の家に生れ長じて武田氏を嗣いだが維新後の郡をて先づ東京京都に遊んで文字に親しみ和漢の書を渉獵した茂十九の時一夜

◇天空に燦錯 してゐる星を見て宇宙の事は一切不可解だと總ての學を廢して飛彈の山中に入り佛書に沒頭した、更に轉じて上州の赤城山に入つたが此處でも別に得る所なく越後の妙高山下の關山寺に入つて佛書を耽讀し二十三歳の時始めて保寧山なる玄道和尚の門に入つて薙髪得道した此の時に於いて和尚の學業は非常に進んで深奧測る可らざるものがあつた然るに二十一年

◇道玄和尚が 入寂したので間もなく決然朝鮮に志して渡鮮したのが二十年、朝鮮では朝鮮と深き因縁ありと抑もであつた、朝鮮では孤鶏深處各地に遍歷したが和尚の凡俗を離れた性行は隨所に發揮された、東學黨の起る前全羅道の海中で難船して既に一命を失はうとした時も泰然自若として聊も騷く色なく箇條を以て敵に對した詩がある「道入玄門見幾歩、幻身好是任去稿」のが即ちそれで當時の襟度と胸宇が如何なる光景が躍如としてゐる、東學黨の亂に坐して二十八年廣島の獄中では當時を追想して「羅織新成明鏡宮、輯積山形綺雲中、窓識金殿吹開死丹瓜翻殿未階紅」などと賦した、その後二十九年に

◇越後に歸り 道玄和尚の後を襲いで保寧寺の住職となつたが日露戰役伊藤公に隨いて再び渡鮮し內田良平氏と共に機微の間に公の政治を援けたが和尚の理想はその學問から發した朝鮮はどうしても日本に併合しなければならぬといふのであつたが伊藤公逝き曾禰子亦殺し寺內伯が第三世統監の印綬を帶びて來るに及んで始めて自分の

◇理想が實現 さるゝを信じて躍然として喜んだが果然併合が斷行されたので之れを觀ると我が宿願成れりとばかり「流落經成騎鹿歸海實山月影依稀仙州他日若相憶事白保寧曆擧微」の一詩を殘し飄然として故山に歸つて終つたが此の時明石將軍を始め知友が和尚に贈つた留別の詩も尠くない、それから間もなく喉頭癌を病んで遷化したが最う七回忌が行はれる樣になつたのは早いものである、更に朝鮮併合後の施設に就いた今日知友によつて法要が營まれる時地下に在る和尚は無論喜んであるのであらうと思はれるさ生前和尚と親交のあつた栗氏は語つた

官者を理由に

離婚請求は棄却

龍山三村洞鄭小奉方居金奥禮は本夫なる京畿道長湍郡津南面石串里の朴甘鉉を相手取り離婚請求の訴訟を京城地方法院に提起したり兩人は明治三十七年二月中當時妻は十一歳を以て夫婦として婚姻し今日迄同棲し來れる所夫朴甘鉉は官者なる爲め到底末永く夫婦として同棲し難き旨原告人の申立てなるも元來朝鮮の慣習として官者にて妻帶し居るは普通の事なれば是は離婚の原因とならずとの事にて棄却となりたり又京城勸農洞尹淑炳も本夫なる官者の京畿道坡州郡衙洞の金榮根を相手取り同樣の離婚訴訟を提起したるも是亦棄却となりたり

浦港軍需品の大火災

獨探の放火か

十八日午後より十九日に渉り浦港埠頭に滅積せる軍需品に大火災起り損害千五百萬留に達す原因は獨探の放火ならんかと（浦港特電）

雲右衛門來らん

六月十日頃京城に開演

浪界の番宿たる桃中軒雲右衛門は數年前來鮮京城に於て興行ご前の當りを取りたる事ありその後鮮滿其に益々老熟したるが來月三日釜山に開演し大邱を經て十日頃京城に乘込み開演の筈なり

東京大相撲

廿二日午後東京支局特電

▲五日目の勝負

勝	決り手	負
駒泉		國見崎
櫻川		綿緑
四海波		藤の川
柏戸		宮城山
黑瀨川		逆鉾
大戸平		龍ケ崎
紅葉川	つきだし	岩木山
敷島		小常陸
石山		近江富士
栃木山	つきはなし	玉手山
大錦		鳴戸洋
西の海		浦の濱
▲中入後		
朝綠	分	稻の穗
眞砂石		稻葉嶽
大の川		十州山
寒玉子		玉の川
梅ノ川		鶴渡
兩國	なかけ	千年川
釋迦嶽	こてなげ	大蛇潟
對馬洋	つりだし	大鳴門
宇都宮	こてなげ	伊勢濱
太刀山	はたきこみ	九州山

改名の際幸先宜しく日出度し▼小常陸に敷島は双方烈しく頭を下げて當てんとすれば敷も同じく頭を下げて渡り合ひ左を入れて肩透かしを引き或はハタキ込みを見せ乍ら健闘する間敷追ひ〳〵突かけ右を差して寄倒しは滿場大喝采▼近江富士に石山は突き合ひ近江ハタかんとするを右を明けて押倒し石の勝

▼栃木山に玉手山 は好取組なり玉手立ちたがりさま右手に栃木の足を捲きて栃木危く殘して強引に巻き上げてそのまゝ押出さんとして玉の足踏に殘さんとしたる所を後ろから突き放して栃木の勝は大喝采▼大錦に鳴門洋はバッタリ左四ツ鳴門氣に寄らんとするを錦廻り込んで反對に寄り鳴門が土俵際に殘さんとするを錦大波腹にてドンと突き放す

▼西の海に浦の濱 は左四ツ浦馬渡持ち上げ西の吊り返すを內掛に防ぐ際西體を預け浴びせ倒し西の勝

▼中入後 ▼綠分に稻の穗は左四ツにて揉み合ひ水入後前同樣にて引分▼稻葉嶽に眞砂石は例の通り鋭どく突き立てゝ眞砂の殘して廻り込むを双筈に當て稻葉の勝▼大の川に十州山は突き合ひ大再三突き倒さんとするを十州殘して左四ツとなり十州の寄り進むを大廻り氣味に寄切つて大のの勝▼玉の川に寒玉子は玉敵の左手を手繰つて何か一業せんとするを透かさず押切つて寒の勝▼梅川に鶴渡は梅突き掛けて右矢筈にて押倒す

▼兩國に千年川 は兩左手に千年の右手を引かけ左足を搦らんで打ちたる掛投千年堪へしも遂に極まつて兩の勝は大喝采

▼釋迦嶽に大蛇潟 バッタリ左四ツとなるや大蛇强引に突き進むを釋迦土俵際にチョイと打つたる捨鉢の小手投極り大蛇土俵を割つて釋迦の勝は大喝采

右の內▲宮城山に柏戸は宮城の出爲を柏イナシ吊り叩きて殘さんとして掃き手を爲し柏の勝となる

▼岩木山に紅葉川 は紅葉鋭どく突きかゝるを岩木受け直して紅葉の足を引きかけしが紅葉振り拂ひ突き出して勝▼逆鉾に黑瀨川は逆烈しく突きかけつゝ左手に黑瀨の腮を攻めて引き落さんとする事再三黑よく殘し逆が飽くまで突張つて追ひ込むを土俵際に彈けば逆前にバッタリ落つ▼龍ケ崎に大戸平は瀧の突き掛けるを大戸押へて左を差すや一もニもなく寄切つて大戸の勝

▼對馬洋に大鳴門 は鳴門突張つてハタクを對馬殘して右四ツとなり互ひに上手下手に褌を引いてチックリ呼吸を計り水となり後チリ〳〵押合ふ內强引に吊り出して對馬の勝

▼宇都宮に伊勢濱 は、合してガッキと右四ツとなるや宇都の左手に伊勢の差手を捲て寄るを伊勢廻り込んで殘し反對に攻勢を執つて宇都の殘して突き拔き鳥渡放するを宇都右手を當てゝ强引に押切らんとするを宇都右手に卷いて小手投美事に極まり宇都の勝は滿場大喝采

▼九州山に太刀山 は立合ひに此だしく暇を取り漸くにして立ち上がるや九鋭どく突き掛け燒に突いて進し無二押進むをハタキ込み太刀の勝にて打出し

學界偉人の大講演

文學博士物集高見氏來鮮

二十餘年間苦心の結果廣文庫の著作をなし我學界の大恩人たる文學博士物集高見氏は今回の來鮮を好機とし本社支局の乞に應じ左記の順序を以て各地にて大講演あるべし

□鎭南浦（廿四日）　□平壤（廿五日）　□大邱（廿九日）　□釜山（三十日）

主催　京城日報社各支局

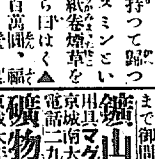
故李容九氏四周忌 五月二十二日は故李容九氏の第四周忌に相當せるを以て同日正午十二時より侍天敎會堂に於て林衛平氏司會にて記念式を擧行せり

雪耕講伯展覽會 日本千名所講集資料探査の爲め入京中の小山雪耕講伯は日下南山町森氏方に滯在中同好者には作品の展覽並びに揮毫の求めに應ずる由道同龍井長

腕の人

＝工傳の應用化學科＝

「朝鮮にある化學製品の原料はなか〳〵に種類が澤山あります、昨秋の共進會に集まつた品物の中からも此の通りいろ〳〵と取り集めて見ました」と應用化學科主任吏用技師は數々の大きな硝子瓶を差し示された、瓶の裡にはインキの原料になる五倍子がある（松脂がある蜜蠟がある鰻體は蠟燭の原料木工の塗料靴墨など）原料等に供せられるがまだ印刷用インキの原料になる蜂蜜や濟州島の鵜も陳べられてあつた、それからまた魚油や胡麻油や荏の油、綿實油、落花生の油などの標本もあれば沃度加里を製造する海草の類もある、凡そ應用化學科の立場から申せば天下の物一として利用され變化されぬものは無いと云つてよろしい位ゐ、天勝の魔術も此處では朝飯前の事である「御覽なさい、今此の生徒は各自に石鹸の製造を試みつゝある處です」と云はるゝまゝに（今春入學した許りの一年生が工場實驗室の一隅を見渡すと）年の頃十四五歳を頭にせつせと小鍋の中を撹せかへして居る、中には美事に出來上つたものもあり半出來のものもある、併し當人は傍眼もふらず攪きませて一生懸命に勉強中、先生は一々生徒に帳面を渡して牛脂、松脂、苛性曹達等の原料品を記入させ猶ほ出來揚つた分量も記入させて居る、お隣を見れば此處はまた兒ん株の工專學生が鹽酸や硝酸を用ゐて各種の分析に沒頭中、傍にはまた（鹽酸を製出する人達が居い）食鹽から（硫酸や硝酸曹達硫酸加里など）を拵へて居る、工傳の生徒はまた蠟燭を作る、蚊遣線香を拵へる何れもなか〳〵に面白い、中にも牛骨を燒きて粉にしたものを貰ツ黒い粃燒きおやすに同樣になつて居るかと思へば一方には御居さんのやうに眞ツ白くなつた小さい白粉製造家もある（電に角應部稍に捨てられるやうな牛骨から眼がされる規範）製紙部は又灘方や原料製造に大勉強石灰がこれ〳〵されるニーペルの骨灰がこれろいろ〳〵な實驗が試みられて居る、また此の科にも例の自營團といふのがあつて生徒は何れも羣青の顏料やポッタース製造をやつて居た、其は朝鮮に多き陶土と硫黄と曹達と木炭末を原料とし又ポッタースは東北あたりの貴族からとろこのことであつた（つゞく）



平井專賣課長、臺灣から持つて歸つたジャスミンといふ兩切紙卷煙草を拈り乍ら日はく▲臺灣では年々內地から約百萬圓、建者其他支那地方から約百萬圓、合計二百萬圓の煙草を輸移入してある▲處が其れを五百萬圓に賣つて三百萬圓の純益を上げてゐるには驚く▲此の煙草は彼地で出來る唯一の紙卷煙草で十本五錢だが朝鮮に比べると非常に逆ふ▲天下廣しと雖も朝鮮程煙草の安い處はあるまい、僕は煙草を喫まぬけれど朝鮮に居る愛煙家は洵に幸福だと思ふ▲僕も臺灣で一句やつたよ臺灣は御承知の通り守宮が非常に多い、其れが夕方などになるとキッ〳〵と奇妙な聲を立てゝ鳴く妾は見ねぬが其聲は到る處で聞く▲或る日宿の女中にあれは何だと聞くと、廝公ですといつた、其處で「守宮鳴く臺灣島のほとゝぎす」は如何です

京日案內

普通（一回前金三十錢無割引）（匿名一回毎に金五錢增）
番外（一回前金六十錢無割引）（匿名一回毎に金五錢增）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

▼大阪義太夫稽古本 五行本只今全部稽古 京城本町一 電二五二七◎ウツボヤ書店 振替二武二參 158
▼朝鮮近史▼菊版三百頁 特價六十錢 送料八錢 京城本町◎振二武二參◎ウツボヤ書店 158
◎貸家 ◎漢陽公園裏三坂通閑靜 官吏向家賃格安 管理者 南龍山印刷局の先 畑中 483
◎旅人 年齢十六七歳男店員數名 入用希望者は至急來談あれ 新龍山三角地前 電三二一番 石見堂 479
◎預けたし 三月出產男子乳の方に一ケ年程預けたし 京城本町一丁目卅三 大正社 電話二六三六 482
竹木陶器大理石銅鐵鍮化學應用無刀彫刻法傳授 文圖送れ直に郵送す 大田（大田驛前） 石原米藏 455
◎明治町フランス教會正門前 ◎ホ子ツギ▲うちみくじき治療 ◎電話二五九五番 荒川仁壽堂 180
◎家屋賣却 土地高燥眺望佳絶 二階建 間數五 浴場水道附 姓名在社 476

番外

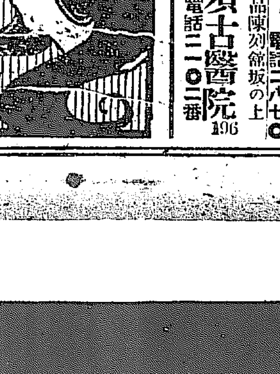
電話 新番號 二八一八番 番號變更案內 京城地方法院東隣 會澤代書事務所 481
蠅取器 定價二圓五十錢 アンマ器 一圓六十錢、一圓廿錢 大勉強販賣致します 京城本町一丁目 高木旅行用具店 484
▼讓店 但商店 新龍山現在の場所 現在確實なる御得意多數あり 建て間取豐富何れの營業にも適す 右讓り望の方は相當御面談 姓名在社 472
間合 京城 春川 乘合自働車 賃金片道四圓 京城發午前八時◎春川發午前九時 京城水標橋通り 京春自働車商會 電話貳壹參八番 支配人 松田壽男 50
旅館至急讓る 年營業多大の利益あり 歸國に付至急格安にて讓る 所在地 南鮮道廳 多數用並に純益あり 主人（姓名在社） 466
日鮮周遊切符讓渡し度し 右當地より安東奉天大連を經て十日間にて門司著 終點博多迄期間五十日間 まで御希望の方は本町日本蓄音器商會まで御問合せを乞ふ 電話貳八參番
鑛山機械類並採鑛用具 マグネット新著 京城南大門外 京僧商會 電話二九四〇番 417
礦物定量分析 坂元分析所 京城太平通二ノ二二五 電話一三四四番 416
南山町三丁目消防詰所前に轉居 產婆 マッサージ 三浦小糸 電話一四四〇番 427
▲盛花 鉢新荷著仕候 京城南大門通五 陶製 樋口所支店 電話三四六 444
◎電話口消毒器 貸付販賣 遞信省認可 ▲專賣特許 朝鮮特約一手發賣元 京城黃金町 電氣器商巴商行電氣部（電話一四二五） 461
美顏術 衣裳着髮結 御婚禮等の御衣裳着御招きに應す 今般開業披露の爲當分の內半額 南山町三ノ一三 菅美容舘 474
◎重石水鉛買入 京城瑞麟洞 光化門郵便局（橫川端） 大菱商行 電話四八六番 108

年金 恩給 類立替 短期 無保險確實 融通 地方照會あれ迅速詳報 京城武橋町二三番地 電話二二八三番 京城日報社北方一丁 國江商會 144

眼鏡專門 各病院眼科醫 川達 宮川大學堂 京城黃金町 振替京城壹壹武九 160

本店新製 クリームキヤラメル 大十錢 小五錢 パン元祖 木村屋支店 京城明治町 電話一八七〇 178

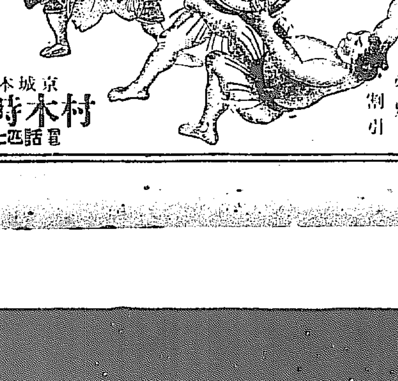
皮膚病 花柳病 專門 須古醫院 京城永樂町一 商品陳列舘坂の上 電話二一〇二番 196



白毛 赤毛 染 君が代
君が代は毛質を損ず染法輕便にて二十分間に染り色長く持ち落ちず洗ふ事なく二回目よりは生え際が目立たず一層便利なり一度御試みを願ひます
定價 別製二十八錢 特製二十五錢
本品ハ全國數ル處ノ藥店化粧品店ニアリ

三浦天龍堂眼鏡部 顯微鏡及マグネット著 礦物を見る 京城本町二 電話一〇〇二 振替三〇四

Family Hotel.
本舘は市の中央にあり土地高燥、庭內廣く閑靜にして宿泊及び宴會には最も好適す
佛國式料理 宿泊 宴會
京城南大門通三ノ一（米國東洋ホテル建築設計部內 ソンタグホテル改）
ファミリーホテル 舘主 ミセス、ホーエル 電話一二一八番



角力ハ太刀山 時計屋ハムラキ
軍人學生特別割引
京城本町二 村木時計舖 電話一七四一番

千生瓢 (220)

須藤南翠作 筒井年峰畫

長湫（廿二）

大將を喪うた金山勢、暫しが間は家子郎等心を一つにして、奮戰力鬪を續けたれど、其機に乘じて突き立てられ、切り崩されて、今は總勢蜂の子を散らすが如く、ぱつと八方に散亂した。

富士が根の中腹に馬を立てゝ、合戰のやうを検分してゐた德川家康、扇を以て鞍の前輪をうち敲き、

「猾めが勢は崩れ出したわ。懸れや者共。功名は仕勝ぢや」と、聲を放つて連呼した。

旗下に居たる安藤彦四郎直次、永井傳八郎直勝、勇み立つて驅け出さうとした。家康は兩人を呼留めて、

「其方共兩人、井伊兵部が手に屬いて、存分の働き致せよ」と申し渡した。

兩人はハツと答へて、直次は槍を横へ、直勝は太刀ばかりで、先を爭つて驅け出した。

猾の鬼武藏を亡つた信輝入道勝入齋は、頻りに備へを立て直して、正々堂々と對等の戰をせんものと、心ばかりは操急つても、全軍は勝に乘じて亂足になつて追ひ進み、出過ぎたる者は敵に中を斷れ、後れたる者は後を遮られて、進退なかく\〜其意の如くならず、入道馬を乘り廻して、横合より八方に下知を傳ふる程に、味方の士卒は散々に放ち散され、剩へ其流れ丸に中つて、乘馬をさへ失ひ、旗下の勇士は、僅に三十八人ばかりとなつた。

此合戰初め暫くは、互ひに鐵砲ばかりを放ち合つて、容易は懸け合す事もなかつたが、安藤彦四郎直次が思慮に依つて、一隊の砲手を丘の中腹に備へ、麾下りに放ちかけたので、其彈丸池田森が備へに命中して、稍や動搖するを見るや、德川が近習に臆病未練の名を得て、同輩の笑ひ者となつてゐた平松金次郎、槍りうと引拔いて、第一番に突いて入る所を見た鳥居金次郎、是れは剛膽不敵の名を得て、同じ金次郎にも、金と純金との品があると、同輩の口に乘つた程の侍士、今鍍金の金次郎に先んじられて、何として蹈踏ふべき、之に續いて驅け出し、續いて今村彦之助は、態と鎧を脫ぎ棄て、素肌になつて走り行き、遂には我れも我もと突き入つて、こゝに切戰となつたのであつたが、臆病者の鍍金金次郎は、池田の郎等秋山嘉兵衛と槍を合せて、難なく嘉兵衛を突き伏せて首を取り、天晴一番槍の軍功を奏したのであつた。鳥居金次郎は續いて敵を要むる程に、今しも今村彦之助に突き勝つて、首を取らうと進み寄る竹村小平次を認めたので、傍輩の敵を剩すまじと、勢ひ鋭く突きかゝり、遂に突き伏せて首を取り、二番首の恩賞に預ることを得たのであつた。

其外最初の槍合せに、池田方では秋山、竹村の外、梶浦六三郎、片桐與三郎之れに死し、德川方にても、今村彦之助の外に、濱島十之丞、笠原五太夫戰死した。

喰道樂 松華

皆さん龍山榮町の喰道樂松華を御存知ですか

龍山榮町(製氷社前)

鯛の釜めしは同店獨特

客室清潔親切本意殊に

電話三三八番

平松金次郎が臆病未練の名を得たのは、或時遠州荒井の渡船の中にて北條家の侍茨木五郎作といふ者と乘り合した時、何事の間違であつたか口論から、五郎作は金次郎に對ひ、口穢なく惡口しながら、頻りに喧嘩を吹かけたので、船中の人々は、蔑破とばかり之に對して、一言も諍はねばかりでなく、却つて平身低頭して詫を入れたので、五郎作も張合拔け、猶も散々に恥しめて、傲然として立ち別れた事があつた。此事濱松の評判となつて、何れも金次郎の柔弱にして、耻を思はぬを嘲けり罵り、遂には家康にまで聞え上げる者があつた。けれども、家康は別に金次郎を咎むるでもなく、金次郎も亦甘じて、臆病者、未練者の汚名を受け、別に恥る色もなかつた。其臆病者、未練者、恥不知、武士の風上に置けぬ腰拔の鍍金金次郎が、今日の合戰に一番槍の殊功を奏したので、誰れも舌を卷て驚かぬ者はなかつた。獨り家康はうち首肯いて、

「金次郎は眞の武士ぢや。荒井の渡津で臆病の擧動をしたのも、皆今日の爲であつた。一旦の恥を忍び、同の鬪を怺へたのは、全く志ある士ではないか」と、座右に對つて賞美した。

小說豫告

千生瓢も近く大團圓を告ぐるを以て次回小說は東都文壇の宿將渡邊默禪氏が近時の大作

「女鳩」

を掲載すべし挿畫の鮮麗と内容の面白きは特に本社の證明に反かざるなり

□新義州より　芳宙

□新義州

死鯨拾ひし時のみ柳淋し町

商況

大阪株式特電

合同紡 七月限 一七二、〇〇 五月限 一三三、二〇

鐘淵紡 一七一、六〇 六月限 一三二、五〇

同上新株 一五一、七〇 七月限 一三二、五〇

東株 一〇四、四〇

大阪株 一三六、八〇

▲廿二日前場(…)

下關期米特電

▲二十二日後場 大阪期米十五錢十八錢

▲現物界

町続ぶるホテルの空や蹄の雁

藥籠ぐ孤兒の唄へる春寒き雨 □甲の鳥

鐵橋を掠めし燕と滅色の帆と

胡笳江さる水面刷く雨の垂れ柳

滅色の帆を縫ふ雨糸を燕

潮に乘り來る船腹に立春の睛

□行春　黃丘

蕨干し上がる春の果てかな

春の別れ庭の芋床除けたり

新刊紹介

▲實用蠶業(一一の七) 蠶業世界定期增刊なり大別して桑樹の栽培、蠶種、蠶の飼育として氣候地味肥料病害蟲驅除桑葉買入貯藏分割其他蠶業に關して必要なる事項は總て之を平易に說明せり(二十二錢東京市日本橋區本町三博文館)

▲禪學入門 牧野老師が最近一年間に於ける習禪界の落穗を纏集せしもの十方に斷落無く四面叉無門とせる古人の無門を門とし信力堅固なる者に取り此の門より自由に出入し得る消息を示す親切丁寧(袖珍三百八十頁一七十五錢東京市牛込區辨天町一の一東亞書房)

▲滿蒙實業彙報 滿蒙實業界の實況を知らんと欲せば本誌を購讀すべし重要記事として滿洲に於ける化學工業の將來商品取引所に就て滿洲に於ける日支合辨事業關東州に於ける普通及び專賣事業大連及び奉天の金融概況滿洲に於ける日本雜貨滿鐵運輸概況大正五年市場三港貿易年報及び滿洲經濟統計は此方面の實況を知らんとする者の閲讀すべからざる好資料たるべし(廿五錢大連市敷島町大連商業會議所)

◉講談落語「名人花形揃」 娛樂世界の五月特別號にして其名の如く斯界の一流大家及び今改山の花形を網羅し盡したり即ち講談に伯知、玉山、馬琴、芦州、貞水、伯山、典山、南陵、如燕、貞山、文車、落語に小さん、圓右、圓藏、むらく等の十五名家を選り拔き各新作も充分努力の跡が見ゆる小說では本文三百卅四頁に目の醒る樣な挿畫及び口繪入定價金卅三錢と云ふ廉價なれば申込多く發行即日增版に賛せりと

讀者の領分

本町から昌德宮動物園に通ずる道路は開通後一箇年に近いが總督府病院、東亞煙草會社工業傳習所等を控へて居るので平常の人通も中々少くないが日曜日になると動物園行の男女が押すな押すなの有樣である方遊覽や並木町を控へて居るので夜の人通りも頗る多い然るに此通りが一般から看却されて居るのは不思議に勝へぬ此通りの土地は割合に廣いから店などを經營せんとするものはさしさし來るが宜い此通りに郵便所と湯屋が無いので一般に不自由を感じて居る瓦斯會社では此通りに二三箇所ばかりせめて三十燭位の電氣でよいから點火して貰ひたいものだ(舟橋町住人)▲鍾路では私家の子も學校歸りに石を投げられたというて歸ることが往々あります場所は商業銀行附近の石コロの澤山ある所ださうです(女の子の女親)▲追々衛生に注意せなければならぬ時節となつて來るが各戸の埃箱を掃除人夫が浚つて行く時には箱を引つくり返して其の底の處迄掃除を願ひたい埃丈けソツト取つて行つたつて底の不潔は何うなさる蠅の住家は安全だ(藥局生)

めいせん 肌に輕く 着心地よき 夏物の おゝ姊や 京城本町二 電話八九〇番

酒煙草きらひになる藥 禁酒丸……禁煙液 酒や煙草の好な人が不思議に心から嫌になる郵券二錢送れば說明書及大澤博士の禁酒論進呈 其他名士の 大阪市靭南通二 本舖 森田商店

宮内省御買上品 原料香水 オリヂナル 香水中で一番よい 未だ御存じない方はすぐ試して御覽なさい 三越呉服店を始め有名呉服小間物化粧品店に販賣す 小三十錢 中六十錢 大一圓廿錢 特大二圓四十錢 廿錢 同 七十錢 ◉鶴物あり 發賣元 東京 安藤井筒堂 代理店 大阪 藤森源之助

腦病良藥 健腦丸 KENNOGWAN 信ずべき腦、神經病藥!! 高村醫學博士有効證明の腦病良藥『健腦丸』は最良の腦神經營養の高貴藥を含める特効藥にして其效驗の著大なるは幾多の患者諸君が實驗して明言なる處なり故に腦神經衰弱、頭痛、眩暈、不眠、便秘、健忘、憂鬱症に苦む人本劑を服用せば逆上を引下げ、便通を快し、記憶力を増し中風、卒中を未發に防ぎ、危險なる腦充血を治するの効あり。迷はずに試みよ!! 主効 ■腦充血■逆上■頭痛■便秘■腦膜炎■卒中■耳鳴■健忘■神經痛■中風■眩暈■頭劑 價 四回分二十錢 一週分七十錢 半週分四十錢 二週分一圓卅錢 三週分一圓八十錢 德用十週分金五圓也 大阪心齋橋二丁目 丹平商會藥房 大阪平野町二丁目 丹平商會分店 東京日本橋箔屋町 丹平商會支店 ▲賣捌八全國有名藥店ニ取次ス

資本金 貳千百五拾萬圓 積立金 九百參拾五萬圓 株式會社 第一銀行京城支店 京城本町二丁目(振替貯金京城一一番) 頭取 男爵 澁澤榮一 銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候 内地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

内科 小兒科 皮膚病 花柳病 入院隨意 京城日出小學校前 多々見醫院 院主 醫學得業士 多々見五郎 電話九四〇番

日韓書房 新版報告 内田五郎著 採鑛設計 定價一圓七十錢 送料十四錢 八木靜三郎著 織物製造法 定價一圓四十錢 送料十二錢 諏訪末吉著 實際養蜂 定價一圓二十錢 送料十二錢 依田太郎著 學理的商略法 販賣術 特價八十錢 送料八錢 巖谷小波著 俳席便覽 俳通 定價一圓十錢 送料十二錢 京城南町二丁目 電話一四五二・七番 朝鮮振替口座一一二五番

健胃整腸 下痢、腹痛にはヘルプが一番よい HELP 헬프 ヘルプ 下り腹どめ 主治 ●食傷●食過●時候あたり●水あたり●寢冷●冷腹 効能 腸胃の故障より起る■下痢■腹痛■吐瀉■疝腹 瓦斯を止め■腸加答兒■胃加答兒を治す 本舖 東京日本橋本石町三 振替東京八四番 津村敬天堂 ●取次は朝鮮到る處の藥店にあり 定價 ■二十錢 ■三十錢 旅行携帶用 ■五十錢 德用 ■一圓 ■二圓五十錢

新案特許 りん病熱氣治療器 淋病は採氏四十度の熱を加へて其黴菌を完全に殺せば全治し再發せざる事は今や醫學界に確證せらる此理により今回新案特許を得たる本器は熱氣を以て局部の淋菌を撲滅し淋病を快速に全治せしむべき器械にて素人にも自宅にて簡單に治療せらるべし内服藥や洗滌等にて効果なき人も速が試みよ發賣以來幾多實驗者の報告に徴し豫期以上の効果を收めつゝあり詳細はハガキにて申込次第說明書進呈す但郵送は切手六錢封入あれ 東京下谷區中根岸町八一 振替東京二七八三三番 日本體育商會治療器部

金露 攝津灘 大塚釀造所吟製 京城本町二丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五

内科 小兒科 京城永樂町一丁目(陳列館前) 村上病院 電話六一三番 院長 醫學士 村上龍藏 副院長 熊本醫學校出 醫士 松下三雄

登錄商標 瓢水味淋 專賣店 京城本町二丁目 前田酒店

京城春川間自働車運轉 京城發午前八時。春川發午前九時 京城南大門通一丁目二十二番地 廣橋京春自働車組 電話二一九番 主務 金正淵

大邱浦項間自動車時間

	一番	二番
上り 浦項發	[illegible]	[illegible]
安康同	[illegible]	[illegible]
慶州同	[illegible]	[illegible]
阿火同	[illegible]	[illegible]
永川同	[illegible]	[illegible]
河陽同	[illegible]	[illegible]
大邱著	[illegible]	[illegible]
下り 大邱發	[illegible]	[illegible]
河陽同	[illegible]	[illegible]
永川同	[illegible]	[illegible]
阿火同	[illegible]	[illegible]
慶州同	[illegible]	[illegible]
安康同	[illegible]	[illegible]
浦項著	[illegible]	[illegible]

浦項電話七番 大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

金泉醴泉間自動車發著時間

	一番	二番
上り 醴泉發	[illegible]	[illegible]
龍宮發	[illegible]	[illegible]
咸昌著	[illegible]	[illegible]
尙州發	[illegible]	[illegible]
金泉著	[illegible]	[illegible]
下り 金泉發	[illegible]	[illegible]
尙州著	[illegible]	[illegible]
咸昌發	[illegible]	[illegible]
龍宮發	[illegible]	[illegible]
醴泉著	[illegible]	[illegible]

▲小荷物運搬仕り候 金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 天智丸 五月三十日 午後九時出帆 油頭丸 六月二日 須磨丸 五月廿六日

○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行 信濃川丸 五月廿九日 後二時出 信濃川丸 六月十六日

○鎭南浦、大連行 信濃川丸 五月廿四日 六月十一日 後二時出

○大連直行 福州丸 五月廿四日 潮州丸 六月五日 正午出帆

○木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 安東丸 五月廿四日 後五時出

○群山、釜山、横濱行 潮州丸 六月九日 福州丸 五月廿九日 後二時出

○淸津、浦潮行(元山出帆) ▲印、城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港 須磨丸 六月八日 安平丸 五月廿五日 後二時出

○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 城津丸 五月廿六日 基隆丸 六月六日 後四時出

御注意 ○朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆約一時間前御乘船相成度候 ○×印は一等客御斷り△印は二等客御斷り

京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話五番 内國通運會社

▲中國四國沿岸各港行船客に對し門司岡山間五割引を以て聯絡乘船切符發賣仕候

日本郵船仁川出帆

○大連、芝罘、天津行 相模丸 六月四日 正午出帆 高砂丸 六月十二日 正午出帆 三河丸 五月廿三日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆

本社 京城南大門通 電話 代理店 京城南大門通 松原運送店

○金羅丸 ○京畿丸 ○黃海丸 ○咸鏡丸 門司より釜山各港經由雄基行 六月十一日 六月一日 五月廿六日 釜山發

○穩城丸 ○昌平丸 ○鏡城丸 元山より各港經由雄基行 五月廿三日 五月廿二日 五月廿七日 元山發

○忠淸丸 ○平壤丸 五月三十日 五月廿九日 元山發

○永興丸 毎月八回 元山發

○濟德丸 五月三十日 釜山發

○江陵丸 ○咸陽丸 毎日 釜山發 浦項發

○三浦丸 五月廿九日 釜山發

○海州丸 ○統營丸 ○巨濟丸 ○慶濟丸 毎日 釜山發

○順天丸 三日目毎ニ 木浦發

○慶興丸 五月廿八日 木浦發

○公州丸 五月廿五日 木浦發

○公州丸 五月三十日 木浦發

○宗信丸 五月廿七日 仁川發

○江原丸 五月廿七日 仁川發

○麗水丸 ○晉州丸 六月一日 五月廿六日 仁川發

○錦江丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發

○平安丸 五月廿七日 六月一日 群山發 若松發

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 第一共同丸 五月 日 出港

○城津、淸津、浦潮行(元山出帆) 第二阪鶴丸 月 日 後九時出

○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 月 日 前八時出

阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 立神丸 五月廿三日 後五時出帆

○元山、淸津、浦潮行 立神丸 五月 日後十時出帆

○門司、神戸、大阪行 小倉丸 五月 日後五時出帆

○元山、城津、淸津行 小倉丸 五月 日後十時出帆

○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第二咸平丸 五月 日後六時出帆

○門司、宇品、神戸、大阪行 第三咸平丸 五月 日後六時出帆

○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿六日 午後十時出帆

釜山本船取扱店 大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 大正丸 五月廿七日後四時出帆 大有丸 五月廿七日後四時出帆 神代丸 五月廿五日後四時出帆 秀吉丸 後四時出帆 君が代丸 五月 日後五時出帆

仁川海岸通 電話五十九番 高杉回漕部